京城日報

京城日報 朝鮮現狀の論爭

朝鮮の現狀は不安なりと說く者あり。之を平穩なりと辯ずる者あり。不安論者は平穩說を以て僞善となし粉飾となし、平穩論者は不安說を以て中傷となし、爲にする所ありとなして兩々相下らず。一は蹶起となりて他をして自說に承服せしめんとし、一は必ず他をして口に其說を絕たしめんとす。斯て一方より一石を投ずれば、他方は必ず之に一矢を酬い、二言三言遂に肩を聳やかし口角泡を飛ばすに到り、一言にても口數の少き時は自ら他より言ひ負かされたりとの屈辱を感ずるもの、如く、爲に冷靜なる識者は眉を顰むる者多し。而うして朝鮮の現狀は是等の論爭を他所にして、儼として其有るが儘の狀態を保つなり。

世には絕對の平穩なく又絕對の不安なし。不安と謂ふも平穩と謂ふも共に是れ相對的の言辭のみ。一層平穩なる狀態を標準とすれば之は不安にして、更に不安なる狀態を尺度とすれば之は平穩なり。之を平穩と謂ひ之を不安と謂ふも、其指す所は共に現下の朝鮮にして、其現狀に二個の表現あるにあらず。其判斷の同一ならざる爲めなり。一外人は曰く『紐育、市俄古にて行はるゝ一週間の强盜、殺人の犯罪數は、朝鮮全道を通じて一年間に行はるゝ所より多し。然れども紐育、市俄古を指して不安と稱する者なし』と。新たに歐米の旅行より歸來した京城の一宣敎師は曰く『歐米諸國には勞働騷擾を初めとして各種の犯罪間斷なく出現し、安心なる生活を營み難きに反し、日本政府の公明なる政治の下に此朝鮮に於て平和の日を送り得るは感謝に堪へざる所なり』と。此兩者は共に。標準を目下の歐米諸國に取りたるなり。歐洲大戰後の世界は支那も西比利亞も印度も、埃及も歐米も、不安は到る所に漂ふなり。今茲に斯く謂ふは戰前の世界に比較しての話なり

朝鮮の現狀を不安なりと說きて他をして一言の辯解をもなし得ざるに到らしむるも、朝鮮の現狀は此の議論の勝利によりて有るが儘の實際を一層不安ならしむるにもあらず。朝鮮の現狀を平穩なりと辯して他をして一言を發せざるに到らしむるも、朝鮮の現狀は[illegible]の勢力により有るが儘の實際を更に平穩ならしめ得べきにもあらず。不安なりと信ずる者は不安なり不安なりと絕叫するよりも、現狀を一層平穩ならしむる方法を指摘し政策を案出して、社會を指導し當局を刺戟するを以て優れりとす可く、平穩なりと信ずる者は平穩なり平穩なりと疾呼するよりも、現狀を更に一層平穩ならしむる方法を講じ手當を盡して、社會を安んじ人民を幸福ならしむるを以て賢明なりとす可し。兩者國を思ひ世を憂ふるの誠意に於ては蓋し異る所なかるべし。唯事物を思考する方式に關し其習慣に相違ありて、爲に立論に黑白の差等を生するのみ。

筆者曾て總督を訪ふ。告げて曰く『朝鮮の事は中々急には行かず。氣を長くし腰を落ち著けて仕事をせられたし』と。歸つて之を老社長に語る。社長曰く『誠に結構なり。總督に其考あれば朝鮮の事は間違なかるべし』と。又之を一友に聞く。友人同伴の一宣敎師は總督に向つて『近頃朝鮮は非常に平穩になり人民も皆落付き居る樣なり』と云へるに、總督は『否々中々さうは行きません、反對の考を有するものも少くはないやうです』と答へたりと。

平穩論者も不安論者も共に朝鮮の事を急に片付けたしとの考へを有する點に於ては同一なり。十年二十年にて朝鮮は立派になるものと考ふるが爲めに。議論も淺薄に陷るなり。五十年は愚か、百年を後にせざれば是れ程の治績は見ゆるものにあらずと覺悟して、三四年若しくは五六年後に結果を見得べき程の小政策に心身を困憊せしむることなく、七十年八十年の後に效驗を現はす程の大政策に著眼し、嫉むる者あるも獨に乘らず、謗る者あるも尙ほ靜かに其言を傾聽する程の雅量を有したきものなり。

警察の世界的趨勢(一)

法學博士 松井茂氏講演

戰爭は革命を生ずる一大動機となるものである、歐洲大戰の各種の方面に大なる變化を齎したに拘らず、不思議にも革命らしい物は何物も贈さなかつた。然るに唯一つ國際聯盟といふ思想が具體化して來て、勿論此の思想は戰爭前から有る又は有つたが、尙は未成品として存在して居た。抑も此の國際聯盟の思想は何て一言にして云へば世界の安全の思想である。卽ち世界の人間はお互に喧嘩をせぬやうにして、成るべく握手するやうにしやうじやないかと云ふのである。是と同樣の思想が國內に於ては產業組合同業組合と云ふ如き公共的組合となつて現れて來た。卽ち利益を皆んなが得やうじやないかと云ふのが同業組合產業組合である。勞働組合も亦同樣である。勞働者は誰も皆人格を[illegible]

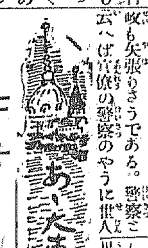
立派なる

人にならむが爲めに組合を作つたのである。そして是等の事業は何れも皆正義を目的として協同しなければならぬ時代になつて來た。警察も矢張りさうである。警察と云へば官僚の警察のやうに世人は誤解して居るが決してさうではない。警察は總て國民諸君全體の問題である。隨つて諸君はよし國民の一人として世界的人類の一人として、警察が世界的傾向を執つて行かなければならぬことに就て共に俱に研究することは諸君の一大義務である。

此の見地

よりして世界の人類同士が互に安全なる生活をすると云ふことは、人類の當然執るべき途である。殊に飛行機飛行船の發明と共に世界を股にかける所の犯罪人も出て來る。是は丁度西班牙風邪のやうなもので來るなと云つても必ず來るのである。之には殆ど國境の制限はない。是迄は國と國との關係を規定する爲めに國際公法或は國際私法と云ふものも出來て居つた。併し是は戰爭の場合には格別の效果はないのである。

七十 あゝ大東京



奥野他見男

『ハイ』

『それが何麼に貴女の家庭を幸福にするでせう、華やかにするでせう』

『ハイ』

『ぢや此處でお別れします、左樣なら』

『いゝわプラットホームまで私も』

『私は列車でお別れするのが、どんな人と別れる時でも大嫌ひです、何んだか淋しい悲哀になつて』

『いゝわ宜しゆ御座います、左樣なら』

『でも一寸だけ』

『左樣なら』

己れは靜かに次第々々に遠ざかつた、振向いて見なかつたけど彼女は屹度己れの姿を見失ふまで見送つてゐたことだらうと思はれた。

家へ歸つたら妻は何麼に心配したらう。私が行びと勸めなかつたら、此麼事にならなかつたものをと、悔むだ。

疵し傷その物が良人の男振を毀損する事多大であると云ふ事に就ては何等心痛する所が無かつた、心痛どころか却て幾分毀損した方がいゝとも云つた。何故なら斯うなつたら己れが今後餘り『己れの男振を見よ、君は何と云ふ僥倖な女だらう』と威丈高になつて僥倖呼ばはりをしないだらうと思ふたからだ。◎

翌日念の爲め馴染の醫者へ行つて見て貰つた、『貴方は年がら年中何だかんだと云つて醫者に厄介を掛ける人ですな』と笑ひながら傷口を見て。

『オヤヨドホームを使つてありますね、貴方はヨドホームにカブれる性やなかつたですか』

云はれて見て成程そうだと思ふた。

『寢てゐると云ふたものですから、寢てる間につけたので知りませんでした』

『又苦しみますよ』

『今とつて頂けませんか』

『今は駄目だ、今いぢると傷口の縫目が切れて了ふ、ま此の儘にして置くより仕方がない、折角コロジウムで堅めてあるから』

との事であつた。

所が二三日經過すると、身體が急に惡寒を覺ねたかと思ふと頭中が搔ゆくて〳〵堪らなかつた、氣は滅入る樣に沈み、萬事映々として樂しみが無かつた。

再び診て貰ひに行つた、

『それ御覽なさい、私の云つた通りでせう、だん〳〵腫がつて行きますよ』と云ひながら取敢ず何んとか軟膏を塗つて頭部全體を繃帶して呉れた。

『明後日までに癒らぬでせうか』

『何うして其麼に性急な』

『でも帝國ホテルの夜會には理が非でも行かなくちやならない』

『この繃帶の儘行つたら何うです?』

『何んだか白の繃帶で頭中を包んでゐると、喧嘩でもした樣な云はば貴婦人に血と云ふ感じを與へて不快だらうと思ひます』

『だけど繃帶を取る譯には行かない』

『困つたナ』

と、云ひながら其處へ出て何か妙案がないかと首を傾けた。フと或る男が『西洋人が怪我した時公の場所へ出る時必ず黑の繃帶をして目立たぬ樣にする』と云つた言葉を思ひ出した。よしツ己れも黑にしたら解るまいと、急に黑の繃帶の布地には何がいゝだらうと妻に相談した所、モスリンがいゝと云ふので、それではとモスリンで繃帶を拵らへた、翌日一應念の爲め其れを持つて醫者へ行き、之で繃帶して呉れと試驗的に遣つて見たら馬鹿にいゝ、全で頭巾でも被つてる樣だ。愈明日は帝國ホテルの本舞臺で內外貴賓と共に踊り踊り拔くのだと思ふと、浮きがちの氣分まで立ち勇んで來る、それにしても此麼頭をして再び來ないあの舞臺を踏むのかと思ふと、我が光榮ある美しき面に對して萬感さても交々だ、最も優秀なる男性美を誇らむとしてゐた身が、一轉して最も醜惡なる我が姿を寫し出さむとは、樣々の後悔が徐々と迫つて來た、さあれ何うしても倒れても死んでも行かねばならぬ、あの歡樂、あの空氣!

◎

今日は、愈帝國ホテルの夜會日だ、都下の新聞を見ると皆樣申合せた樣に『佳人と佳人が入り亂れて美しき今夜を踊り明かすだらう……』とか上流社會の花形が歡樂の目』とか樣々に書き立て、景況の豫報を遣つてゐる。何となく胸躍り血は湧いた。

醫者に行つて念入りに繃帶を濟ませた己れは、更に美しく顏を剃つて眉目秀麗な所を示し、夜會服にエナメルの靴と身を整へ、いざ姿勢を正しく[illegible]ちやいと鏡に向ふ頭こそ孤被りだが。男振りと云ひ風姿の堂々さと云ひ。イヒツ・ウフツ、ウツ、ウツ、うれしい。

新刊紹介

▲刑法質疑詳解(檢事、平井彥三郎著)本書は日本警察新聞約二百五十號に亙り凡三十年間同紙上に揭載されたる法律上の質疑解答中、刑法に關する事項を輯錄したるもの、先づ問題を揭げ次に斷定を示めし次に理由を記述す勿論理由の一節が解答の要點たり(袖珍本▲定價一圓六十錢送料八錢▲東京市芝區愛宕町二ノ一四日本警察新聞社發行)

▲懲毖錄(柳成龍著、長野直彥譯)本錄は豐公二回の朝鮮出兵始末を記したもの著者は亞相から戰時宰相となり參謀總長の如き役目にありたりといふ以て內容の信憑すべきを知るべし、なほ南溟ム平壤を添へたり通俗朝鮮文庫第五輯なり(四六版▲定價一圓五十錢▲東京市四谷區鹽町一ノ一八自由討究社發行)

▲比較宗教內證評(高岡青原著)この書は比較宗教をさんと天理さんの內證話さ隨分妙な書名をつけたものかな宗教の問答體に記述せり(菊半截▲定價九十錢▲東京市神田區三崎町三丁目文明堂書店發行)

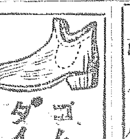
本紙定價 一部金五錢▲壹ケ月金壹圓廿五錢▲六ケ月前金[illegible]▲[illegible] 郵券代用一割增
廣告料金 五號十四字詰一行一圓卅錢▲同特別二倍▲二號七字詰[illegible]▲四號九字詰[illegible]▲六號十六字詰[illegible]
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話長六千九番・長六千九番二 振替京城三〇〇番

中央工學校
機械電氣本科 建築土木本科 機械高等科 建築高等科 電氣高等科 土木高等科 生徒募集
第八回生徒募集 製圖科
◎◎小學出身は一年 高等小學出身は六ケ月 中學卒業者の… 女子になる規則見よ 新學期始業十月 [illegible]
東京市神田區[illegible]

意外 有利事業 發見
▲他に未だ類のない自宅最新事業
資本同樣能でも金儲 諸は樂に出來る發見地方(?)獨占權あり 最も收入多大なる何人にても
事業を公開す從のイカサマ事業とは全然異なる 詳細ハガキで申込め直ちに通知す
東京府幡ヶ谷町 岸上商社

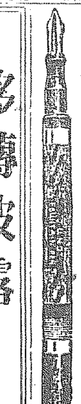
青年習字 速成會員募集
字の下手は一代の損
諸君が目下の急務 實用向き細字上達法
字の下手な位見苦しく又其人の人格も疑はれ信用を落す…
東京赤坂丹後町 日本青年習字會 振替東京四九番

出版案內
正續 鶴鍊註ふしやすさぶ 送共二十二錢
新狀 恨お方 送共十九錢
新詩歌本(男女夜泣其他) 送共四十錢
眼病療法 送共五錢
實驗心身強健法 送共一圓
男女の分化と開發 送共一圓六十五錢
生殖器研究と根治法 送共九十一錢
日本人の祖先 送共一圓六十五錢
京城本町 振替二二二三 ウツボヤ書店



ゴム靴 ダイヤ 販賣日本一
神戸市元町六丁目 合資會社 神戸屋ゴム商店 電話長元町一六九〇番 振替大阪二四〇七四番

謹啓 弊社全州支店本月十七日類燒の厄を蒙り候に付ては早速各方面の御見舞を忝ふし奉感謝候取込中略儀新聞紙上にて御禮申述度如斯御座候 敬具
追て今日より直ちに假店舖にて營業開始致居候間不相變御引立願上候
大正十年八月十九日
京城南大門通一丁目 朝鮮自轉車株式會社 電話長一二〇一番・振替京城八一九一番



移轉披露
謹啓 時下益々御清穆ノ段奉賀候今般弊店業務擴張ノ爲メ旭町一丁目ヨリ長谷川町ニ移轉仕候就テハ大勉強ヲ以テ各位ノ御需用ニ可應多少ニ不拘御用命御引立アランコトヲ希上候 敬具
京城長谷川町九一(京城商業會議所向)
セメント石灰 左官建築材料 卸商 戸澤商店 電話長九八〇番 振替京城六八六番

磁氣應用酸素療器の元祖絕對安全
創立十周年記念大擴賣壹組正價金卅八圓
登録商標 オキシパサー
本器は物理療器中の最高權威にして效力の的確なる點は夙に識者の認むる所也。使用法簡易且つ失費を要せず、一器を購入せば永遠の使用に耐へ家庭の保健上必須缺く可らざる器械也。[illegible]
東京市麴町區有樂町一丁目三番地 發賣元 大日本オキシパサー商會 電話丸の內一八九八番 振替東京三三八二番
朝鮮總代理店 龍山驛前 日の本 居森松次郎
京城府黃金町一ノ六 京城日報社代理部
取扱店 松本商店

株式會社朝鮮殖産銀行 第六期(大正十年上半期)決算報告

貸借對照表(大正十年六月三十日現在)

資產ノ部

科目	金額
拂込未濟資本金	一五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
債券價格較差	[illegible]
諸預ケ金	[illegible]
勸業貸付	[illegible]
內譯 年賦及定期貸付	[illegible]
引受債券	[illegible]
組合當座貸越	[illegible]
商業貸付	[illegible]
內譯 證書及手形貸付	[illegible]
當座貸越	[illegible]
割引手形	[illegible]
荷付爲替手形	[illegible]
貯金部保證貸付	[illegible]
他店へ貸付	[illegible]
支拂承諾見返	[illegible]
代理貸付	[illegible]
假拂金	[illegible]
所有有價證券	[illegible]
營業用土地建物什器	[illegible]
流込土地建物	[illegible]
金銀	[illegible]
合計	[illegible]

負債ノ部

科目	金額
資本金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
債券發行高	[illegible]
未拂債券利子	[illegible]
政府諸借下金	[illegible]
地方費	[illegible]
諸預り金	[illegible]
諸貯蓄金	[illegible]
諸借入金	[illegible]
朝鮮銀行代理店	[illegible]
日本勸業銀行代理店	[illegible]
他店ヨリ借	[illegible]
本支店未達勘定	[illegible]
支拂承諾	[illegible]
代理貸付保證	[illegible]
假受金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金分配

科目	金額
當期總益金	[illegible]
當期總損金	[illegible]
差引 當期純益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
計	[illegible]
此ノ分配計算左ノ如シ	
缺損補塡準備金	[illegible]
配當平均準備金	[illegible]
役員賞與金及交際費	[illegible]
株主配當金(政府持株ヲ除キタル株ニ對シ年八分)	[illegible]
新株配當金 年八分	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

右之通ニ候也

大正十年八月

株式會社朝鮮殖産銀行

頭取 有賀光豐
理事 中村光吉
理事 櫻井小一
理事 石井光雄

右調査ヲ遂ケ其ノ正確ナルコトヲ認ム

監事(侯爵) 朴泳孝
監事 廣瀨滿正
監事(子爵) 尹德榮

建築手技養成
▲今や建築技手大缺乏 何人も僅か一ケ年の短期で本會の建築講義錄を卒業すれば極めて奧儀全般の
■君は何を擔任する? ■手記に滿足するの書を得て現場監督や設計製圖の技手に高級を以てスグ採用される●見本付●會則申込次第無料進呈す
東京市外 帝國工業敎育會

建築得業士

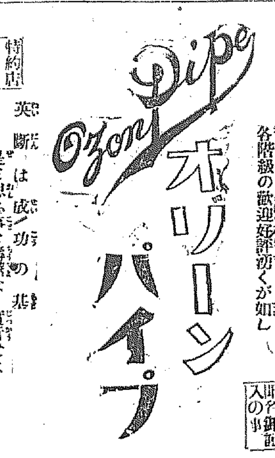
藍浦產 硯及石器
石質堅牢 彫刻優雅 家資名產
忠南大川 多田任大堂

懸賞金拾萬圓
本會の目的は講義錄を賣るに非ず 金滿家養成に有り
著者 本會長 永島千代吉 ●滿拾五年間實驗の資產家 ●必ず幾百千萬圓の長者たる
利殖資料 歲額 金貳億圓 安全日本銀行 確實郵便貯金 同樣 ●此利殖法を實行せば何人も成功者たる事實に疑ひなし
利廻り年 三割以上
一定不變 利殖法講義錄
事業發展 講義完成 會員大募集 本月卅日迄限り入會金特免
●參考書及會則希望者は金武拾錢送れ直に發送 東京麴町[illegible] 振替東京五六〇四〇番 利殖研究實行同盟會
本會講義錄の一頁は萬金に價す 論より證據來り眞價を認よ

旅行家ノ必需品 トランクカバン
品質價格獨歩
製造元 京城本町二 向井カバン店 電話二四八四

最上醬油 キッコーリウ
醸造元 日本醬油株式會社

人生の大幸福は健康に在り



英斷は成功の基
喫煙代用として將た吸入器として各階級の歡迎好評湧くが如し
本器に應用する香料は清涼なる快味を有し喫煙代用として好適この好評噴火山の如し
オゾーンが健康上に如何に卓越せる效果を有するかは學說の一致する處又[illegible]
オゾーンの偉力 呼吸器[illegible]傳染病、防食慾の增進、便の通暢[illegible]
特約店 朝鮮京城本町三 山岸天佑堂 [illegible]
特約代理店 [illegible]
照會は發賣元へ
發賣元 合資會社オゾーン商會 [illegible]
一日一個の保健料は價値外

新法則增補五版出來
博士名士賞讚
學理と實際の聯鎖をなりたる世界有名の科學的秘法
株式 期米 蠶絲 綿絲 六知法眞髓
用蠶經濟學の大權威者 岡田六知先生 二十五年間苦心の名著
特價拾圓 菊判總布製函入 三百頁 送料[illegible]
經濟界盛衰循環の軌路を明確に豫定し是に伴ふ相場の大勢中勢目先と三段に區別して高値安値何十錢すこの算數的に測り要所高下變化日迄何人にも正確に觀測すべき秘法を致へたる斯界に一大驚異と奇蹟を示したる金儲の寶典近頃世に廣告のみ立派に內容無效の書を賣る者多し玉石同視せず飽迄六知法に信賴して資產を增殖せられよ
發兌 東京市牛込區下宮比町三四 電話番町長一七六三番 振替東京二七七二番 信告社 大阪特約店 [illegible]
本書に優る祕書他にあらば百圓進呈
本書內容無効ならば即時返金す
成功致富の參謀

京日案內
自働車 ドッヂ[illegible] 京城永樂町二丁目 電話一六五
高給 [illegible]
古本 [illegible] 京城本町[illegible]
古本 買入 東京堂書店 京城本町二丁目 電話三四二八
中古 ミシン高價に買[illegible]
恩給 [illegible]
讓店 [illegible]
女中 入用 [illegible]
帳場 入用 京城新町 清月樓本店
洋服 職人入用 京城本町四ノ二五四 [illegible]

最新刊
ラフアエロ [illegible]
ドン翁書簡集 [illegible]
世界國家論 竹內謙郎著 [illegible]
新マルサス主義研究 [illegible]
現在と永遠 [illegible]
敎育勅語と御製 [illegible]
知己八覽 [illegible]
亡友追遠錄 [illegible]

京城 大阪屋號 [illegible]
仁川本町 白神洋行
洋鐵鋼 諸機械 工具附屬品一切 金物商 月刊物價表 御申越次第進呈
京城南大門外 白神洋行支店

正式回答文内容
發送は廿三日

【東京電報】米國の太平洋會議正式請待狀に對する回答は外務省にて起草し十九日の定例閣議に附議したるが案の趣旨には承認せるも二三字句を修正すべしとの意見出で外務省にて修正の上二十三日の定例閣議に附議し更に同日外交調査會に諮問したる後直に正式發送の手續をとる事に決定せり回答文の内容左の如し

「軍備制限の協定は正義人道及世界平和に貢獻する事業大なるを以て帝國政府は滿腔の賛意を披瀝して其の協定實現に努むべく進んで會議に參加す且つ意見の圓滿なる交換と協定の實現を期し其の成功を贏ち得せしめん事切望に堪へず且つ會議の圓滿なる進捗を期せんがため太平洋及極東問題の如きは軍備制限をなす上に必要なる事項のみを議題に供し且議題の性質範圍に就ては會議開會前各國間の意見を一致せしむるため交渉の必要あり」

卽ち圓滿滑脱なる辭令の裡に我が國意見の存する所を含ましめたるものなり

軍備會議に佛國 參加の正式回答

【巴里十七日發電】首相ブリアン氏は亞米利加大使ヘリツク氏を官邸に招き軍備會議に參加すべき佛國の承諾公文を手交せり

華盛頓會議形式は 五分科制をとらん
結局内田外相出馬か

【東京電報】華盛頓會議の議事方法が協定の上決定せらるゝものなる事勿論なるが大體に於て米國の意向として傳へらるゝ所によれば會議は先づ劈頭全會議を開き全般に亘り總體的決議をなしたる上にて直に之を五大會議に移り各分會議に對して關係各國は一名宛の代表者を出し各分會議を併行せしめ今回の會議を進捗せしむべしと

第一、軍備制限 第二、極東問題 第三、空軍の制限 第四、毒瓦斯其他の新武器問題 第五、國際法の改正

而して此五問題中國際法の改正は主として第三及第四の議題の結果に派生し行はるゝものなり今回の會議に對する各國代表の數を米國政府が凡そ五名とせるは畢竟右五分會議を企圖せるに依るもの如し

總れば日本より派遣すべき代表に就ても右五分會議の事情を參酌する必要あり其の代表は目下原首相の肚裡に秘せられありて確知するに由なしと雖も最近我が海軍にありては加藤中將、陸軍にありては佐藤少將を派遣するに決したるは右は陸軍にありて必ずしも我が代表たるには非ず所謂五名の正使は巴里會議同樣の形式により今後任命を見るべく代表委員の手腕たる人物は未だ決定を見るに至らず結局内田外相主班として出馬するの外なき形勢は昨今漸く濃厚になりつゝある觀あり

英佛兩首相出馬

【東京電報】英國首相ロイドジョーヂ佛國首相ブリアン兩氏の出席する事は確報の如くなるが英國にてはロイドジョーヂ氏の外海軍卿チャーチル、樞密院議長バルフォーア氏等出席するに至るべしと官邊にて豫想しつゝあり

米國代表中には 婦人をも任命せん

【華盛頓十八日發電】全國婦人選擧民聯合委員は太平洋會議に對し大統領ハーヂング氏を訪ひ軍備制限會議に出席の米國委員中には婦人代表者を任命せん事を懇願したるが之に對しハーヂング氏は今回の會議に對し婦人の勢力を利用せん事を希望し居るため右計畫は着々進行中なりと答へたり

原首相が最適任
珍田伯語る

【新嘉坡十八日發電】珍田供奉長は欣然として語る今回の東宮御巡遊は大成功なりき殿下には益御健勝に渡らせられ歐洲各國の御見學を滯りなく御終了あらせられたるは我等國民の欣幸に堪へざる所なり（后に華府會議に言及して曰く）同會議に對する日本の代表の人選は最も其人を得ざるべからず余は原首相の出馬を最も適當なりと信ずれども之が不可能なりとせば内田外相參列を可とす二三新聞の如く予はこの記念すべき任務を引受くる事なしとするも予としては健康上休養せん事を希望す云々

王正廷氏派遣に反對

【北京十八日發電】支那は華盛頓會議に對する正使として顧外交總長を出さしむるに決定せる事は事實なるが王正廷氏も委員に擧げられたり之に對し廣東政府は王は南方派を賣りたる人物なれば斯くの如き人物を民國代表とするは大反對なりと通電し來れり

華盛頓會議に 情報部員の先發

【東京電報】來るべき華盛頓會議に際して特に我が帝國は之を機とし世界に日本の政策を宣傳せしむべく我が外務省情報部の活動を目論見つゝあるが同部にては之が先發として部内の俊才にして今回の會議地たる華盛頓の事情に通じたる某々二氏を同地に派遣する事となり右二氏は近く華盛頓に出發すべし

代表五名以上に增加か

【華盛頓十八日發電】上院議員ノックス（前國務卿）氏は華盛頓會議米國委員は近く任命發表さるべしと傳へらる尚代表員數は豫想の五名より多數なるやも知れずと

齊多政府と大連にて 通商問題交渉
撤兵問題と切離して

【浦鹽十八日發電】大連に於て齊多政府代表者と我國代表者との交渉開始期日は二十一日に決定し日本代表者は松島政務部長、島田領事及び顧問の高柳少將の三氏にして今我代表者の談によれば大連交渉は通商問題に關してのみ折衝する筈にて撤兵問題を切離し齊多政府との通商問題に關してのみ折衝する筈にて撤兵問題は政治上の安定を前提として徐々に實行するの態度を確立すべし齊多政府の交渉態度は撤兵問題を提言するの傾向あるを以て此の間彼我の態度に軒輊あれば今回の交渉は長引くもの、如く幾多波瀾あるべしと豫測せらる我代表者浦鹽出發に際して洩したる言に依れば今回の交渉は先づ齊多政府代表者の資格檢査より開始し又勞農政府の委任權利も試驗し然る後談判開始の順序にて極東共和國の假面を脱せしめたる後正式談判に入る豫定なりと

王氏の財產保護依賴

【天津十八日發電】王占元氏は其の部下を張作霖氏の下に派遣したるがこは湖北に在る氏の財產保護を依賴せんがためにして成功謝金一千五百萬元を軍費として提供すべしと申込ませたり湖北にある王占元の財產は約七千萬元にして目下財政總長[illegible]任を以て保護し居れるが省民はこの全部を差押へ人民の被害を補塡すべしと主張するため財政總長は處置に窮し王占元氏に至急處理方を電報しつゝありと

各師團長臨時召集

【東京電報】陸軍にては今回全國各師團長を召集し來る六日皇太子殿下御歸朝の宴に參列せしめ引つゞき臨時師團長會議を開催する筈なるが同會議にては多分西伯利撤兵問題並に軍備制限問題中陸軍に關する問題に就き協議すべしと

定例閣議
回答案文上程

【東京電報】定例閣議は十九日午前十時より永田町首相官邸に開き各大臣（元田鐵相を除く）出席先づ内田外相より太平洋會議に對する外交經過に就て詳細報告する所あり米國政府の正式招請狀に對する我が回答案文を審議せるが其の趣旨は承認せるも所用に對して愼重の注意を拂ふべしと二三の意見出で修正する事となり漸くて帝國政府の今後とるべき方法を協議し之を外交調査會に諮問して其の承認を受くる事に決定したる後内外重要政務に就て審議し午餐を共にして午後一時散會したり

臨時外調
二十三日開會

【東京電報】臨時外交調査會は來る二十三日午後二時より永田町首相官邸に開會するに決せり

外交官異動

【東京電報】十九日の定例閣議に於て左の如く決定せり近く發表すべし

任特命全權公使 大使館參事官 永岡春一
任大使館參事官 外務省參事官 同 松田道一
同 松平恒雄
同 奥山清治
同 佐藤尚武
總領事 熊延信通
（以上二等各通）

叙高等官二等（各通） 總領事 鈴木榮作
同 右田嘉平
特命全權公使 永岡春一
チェックスロバック國駐箚被仰付
大使館參事官 松平恒雄
乙國在勤被仰付
大使館參事官 佐藤尚武
蘭西國在勤被仰付
大使館參事官 熊延信通
西班牙國在勤被仰付

鮮鐵移管解決さる
十九日總督府にて協定

多年の懸案であつた鮮鐵移管問題は去る十五日久保京管局長が總督府の承認條件を提げ目下滿洲視察中なる早川滿鐵社長を四平街に往訪して熟議を凝し承認の調印を濟まして歸任し十九日正午總督府に於て左の如く協定し圓滿なる解決を告げた

一、大正九年度末迄の投資額に對しては從前の通り年六分の納付金をなすこと
一、十年度以降の投資額に對しては年四分の納付金をなすこと
一、從來補充費四十萬圓を限度として負擔せるを十萬圓限度に減す
一、右協定は大正十三年度末迄とす

以上の通り當局者間に於て協定調印されたるが卽ち十四年度よりの計畫に對しては更に新に十三年度末に於て協定すべきが今日に於ては何等言及せざりしと云ふ

右につき久保京管局長は語る「鮮鐵移管問題も茲に全く解決を告げた、是から十三年度末迄は鮮鐵の責任であるから誠意以て鮮鐵經營の爲め最善を盡すは言ふ迄もない、朝鮮產業開發の爲め換言すれば列車の運轉、貨物の運輸、貨率の統一等何れも各都港は勿論其他の地方に對する均等を缺かざる樣 最善の對策 を講ずるにある。動もすれば其都市に列車運轉又は貨率に對し不平を鳴らすものなきにあらざれども滿鐵は運轉、貨率等に就ては苟くも總督府の諒解を得ずして勝手氣儘に行いしことなく從來に徵して明かである。而して鐵道從員現在一萬餘人に對し 大陶汰を行ふ が如きことは斷じて大陶汰せざることは曾て聲明した通りである、財界の狀況も漸次好況に向いつゝある狀態に鑑み今後或は尙增員の必要を生ずることなきを保し難いから無暗に馘首するのが能でない」云々

而して久保京管局長は來る九月末を以て重役の任期滿了につき退社すべしとの說あるも同局長の手に依つて鮮鐵移管問題解決したる以上更に重任の餘儀なきに至るべく當然十三年度末迄現職に留任すべしと云ふ

圓滿に解決した
水野政務總監談

滿鐵委任經營存續及契約改訂に就き水野政務總監は語りて曰く「滿鐵委任經營存續の事は既に確定の事實で兩者間には此の下に納付金問題の協定を進めて居たのであるが今回之れが決定し向ふ三ケ年間は新改訂の下に委任經營を繼續する事となつたのである總督府としても種々攻究の結果今日鮮鐵の直營を行ふとしても 委任經營に 將に數等の利益があることも認められず兩者に適當なる協定の成立を見れば今日委任經營を存續するも總督府の收益及鐵道の使命に對して別に不都合は感じないのである又滿鐵としても今日新に委託せらるゝとなれば格別從來行ひ來つた事業であつて見れば運輸の連絡統一上から見ても利益であらねばならぬ今回の新協定は大正六年委任經營成立當初の協定に立歸つたものである卽ち全然請負契約であつて滿鐵は損益に係はらず既投資額に對しては六分將來の投資額に對しては四分を納付すべき義務を負ひ之れ以上の收益を見たる際は滿鐵の收得と定められ總督府としては安全確定の收入を豫定する事を得るのである大正七八九の三箇年間に行はれた如き別個契約の如き過剩利益の折半收得を失ひたる一方缺損に對する總督府の責任を解除されたものである新線に對する納付金を減じたるは新線の營業當初は多く不利益線である關係に依るのである」

鮮鐵協定理由
弓削鐵道部長談

朝鮮國有鐵道の經營は大正六年七月以來滿鐵會社に委託せられ建設改良の計畫は總督府に於て決定し其の資金は總督府に於て之を支出しつゝあるが其の損益は委託本契約に於て朝鮮線の損益は滿鐵に於て別個の勘定と爲し其の益金が總督府建設改良支出額に對し年六分に達する迄は其の全額を納付し六分を超過したるときは其の超過の半額を六分相當額に加へたるものを納付すること、定め

大正六年度 は此の協定に依り取扱ひたるが大正七年七月に至り納付金に關する別定契約を定め七八及九の三年度は總督府支出額の年六分に相當する金額を納付すること、して之を實行せしが大正十年度納付金に對しては右別定契約を爲さず同年度に限り前記大正六年度所定の委託率契約の定に依つて取扱ふこと、し大正十一年度以降の取扱に付いては未定なりしが今回總督と滿鐵社長との間に協議を重ねたる結果委託契約は十一年度以降に之を繼續すると共に 納付金の率 を改め在來の投資額に對する年六分額に今後投資金に對する年四分額を加へたるものを十一年度以降三年度間毎年納付せしむること、し大正十四年度以降の納付金は此の際之を協定せずして今後の經過を俟つて更に之を協約することゝせり

朝鮮上半貿易
前年より減少

八月上半朝鮮貿易額は輸移出七百二十一萬二千六百八十八圓輸移入七百六十八萬五千三百十五圓合計千四百八十九萬八千三圓にして一月以降の累計額は輸移出一億一千六百九十萬九千四百五十六圓輸移入一億二千七百七十七萬七千七百廿七圓合計二億四千四百六十八萬七千百八十三圓にして前年同期に比し輸移出に於て四百五十四萬八千三百九十九圓輸移入に於て三千七百五十五萬七千八百十三圓合計四千二百十萬六千二百十二圓の何れも減を示せり出入の權衡を見るに八月上半に於て四十七萬二千六百二十七圓の入超にて之に一月以降の入超額千八十六萬八千二百七十一圓に達せり

產業調查會期
九月十五日

產業調查會委員は過般來總督府殖產局に於て人選中なるが本月中には全部決定すべきを以て來る九月十五日初會議を召集することに內定したりと

十九日入城せる上田第十九師團長

文化的施設完了
今後は內容充實に努力

文化政治實施以來警備機關の改革を始めとし地方制度の改革、衛生機關の擴張、教育の根本方針確立、其他土木交通等各般の施設に對して改革を加へ着々實績を擧げつゝあり而して殘るは唯に產業方面に對する施設のみなりしが豫て計畫中の產業調查會も愈來る九月十五日開會することに內定したるを以て文化的施設も先づ是にて一段落を告ぐる次第なるが總督府今後の方針は是等文化的各般の施設に對して益實績を擧ぐるに努むると同時に地方官吏、敎員、巡査等の改善を圖るべく地方官吏養成の爲めには明年度より官吏養成所を京城に設置することに決定し既に明年度豫算に計上したりと

十五年前とは 隔世の感がある
上田第十九師團長談

新師團第十九師團長上田太郎中將は赴任の途次十九日午後七時四十分龍山驛着入城卽夜大庭軍司令官々邸の晩餐會に列席し同夜は旅館に一泊の上二十一朝赴任せり記者の來城を本旅館で出迎へたるが事中左の如く語る

僕今より十五年前に朝鮮の地を踏んだが今回で二度目であるが全く一變した、車窓から眺望するに丸で內地を旅行してる感がある、田野の廣漠たる青々と稻苗の繁茂れるを見て米の國だ好い土地だと無精に獨りホク〱の想ひ、高島中將とは廣島で會見して事務の引繼ぎを受けたが高島閣下の談話に依ると國境の現狀は 頗る靜穩 らしい噂と風聞は千里を走ると同時に千變するから實狀と異つてるだらう、我々は皆引つ連つて來た。老妻の如きは[illegible]があるので御用船で清津に廻し僕が鐵道便で元山に行き合ふ手順になつてる、羅南は可なり寒いさうだね國境の守備隊は惡人共の防止よりは寒氣と不便に苦闘するらしい、馬賊にせよ、不逞者にせよ正々堂々名乘を擧げて來るなら一ト打ちで鐵風に吹き飛ばして了うが、喇叭盗の小鳥に似た狐鼠々々穴を潛り込むで來る奴は一寸仕末に了へぬ…[illegible]網細かい網で…いと雜魚は入らぬ、[illegible]

思想上の防禦 工事は聰明な總督府側で、チャンと施されつゝあるから何にも彼れ此れ言ふことはない、僕は久留米の師團に在職つたから將卒の訓練に從事して居たのだが勿論時代の變遷で壯丁の思想も十年以前とは大分に變つてるが然し其の奮闘たる

大和魂には 貧乏揺ぎもない唯昨今將卒共に自覺敎練が眼義となつてるので稍緩やかに任せた結果多少の不品行者を出すのは人情の然らしむる處で此れとて當人が本分を忘却したと云ふのでない夕ゞ一時的現象で何等苦慮するに足らない」

過激派と其魂膽（下）

四、其間に愛なし 同一の事實を擧げて之を證明すれば過激思想の根本たる資本廢止と富の平等を力說したる獨逸人『マルクス』並に其の說を布衍せし高弟『カエツキー』も又猶太人にして該資本論を以て 智識階級 を迷はし勞働階級を煽動せんとせる巧妙にして又極めて組織的なる彼等の陰謀は一面より見れば誠に嘆賞に値すべきものなり然れども天地萬物元之れ平等ならざるに強てこれを平等化し天地萬物は遠心力と吸心力とに依り其の形態を保ちつゝあるに『マルクス』等の煽動する所は全然人類各個を木石の如く機械の如く取扱ひ其の間 溫情愛情 の存在を認めず單に權利義務の關係より論じて人類をして萬物の靈長たる特長を失はしめんと努力しつゝあることは誠に世界文明の退化と云ふべし人倫に常を以て道德とせる吾人東洋人士より見れば誠に惜むべく否寧ろ憐むべきは過激運動の根本が前記陰謀に基けるものなるを知らずして其の宣傳に乘り蠢動しある下級過激派の愚なりとす

五、宣傳巧妙を極む 以上述べたる如く過激派は全然衆愚の聲を利用して自己の政策を遂行せんとするものなるを以て宣傳は彼等唯一の武器なり過激派が到る處に宣傳學校を設けて宣傳の專門家を養成し又窮乏の極に達せる財政の中より宣傳費を割いて惜まざるは又之が爲なり人一度彼等宣傳員の溫顏に接し其詭辯を傾聽するときは之れに迷はざるもの稀なり殊に彼等宣傳の目標は 貧民階級 に屬し思慮分別に乏しき者並に社會の落伍者に屬する者多きを以て一度其の說に迷はされる時は無政府狀態の實現をも伴ふに至るべし以上の如き實理を以て過激派は好んで教育程度の低き國民を赤化するに努めつゝあり露國を第一に赤化したる彼等が目下朝鮮支那に迫らんとしつゝあるは之が爲なり

六、誠意全く無し 西暦千九百十七年末過激政府が成立するや直に獨逸と『ブレストリトーフスク』條約を結びしが今日に至る迄未だ嘗て約束を履行したるを聞かず彼等は約束を締結する始めに於て決して履行の誠意を以てするに非ずして相手方を利用せんとするに止まるなり嘗て過激派の有力なる一員 口を極め て論じて曰く國家と國家との間に誠意の存在を求むるは無理なる要求なりと斷言したり單に國家と國家の間なればまだしも國家と個人の間に於ても約束を履行せざること多々ありて之れ卽ち近時勞農治下の露國民が漸く反抗心を生ずるに至りたる一因なり然れども彼等は實際に依りて生くるものにして素より 信義を重 んじ能はざる組織なるを以て將來に於ても必ずや此の種の背信行爲が續出すべきものと考へざるを得ず彼等の主力たる猶太國の法律に依れば利害關係の身に及ぶ時虛言を云ふことは正當防衞にして罪惡を構成せずと定めありと云ふ故に彼等の間に虛言の百出するは毫も怪しむに足らず卽ち彼等が世界の統一は勿論吾人の最も迷惑を感ずる所なり

七、結論 之を要するに過激派の主張する所は天理に反するを以て教育の進み社會缺陷の甚だしからざる國に於ては毫も恐るゝに足らざるものなりと雖も然らざる國に於ては彼等の甘言に迷はされざる樣恐れて之れを恐れ而して之に對抗する適應の策を講ぜざるべからず。

（八月十五日發、奉天貴志公館にて 貴志彌次郎寄）

警察署移轉問題
面長有志陳情

京畿道長湍郡郡內面長[illegible]澤氏外九名は二三日前より毎日京畿道廳に出頭して何事か陳情しつゝあるが今其內容を聞くに同面は人口千二三百を有し現に長湍郡廳及長湍警察署の所在地なるが最近警察事務の膨脹に連れて警察署の狹隘を告ぐるに至りたれば面民協議して敷地を定め改築の事も略決定せる折柄昨今に至り當局に於て警察署を津南面東場里驛附近に 移轉の議起 り已に同地在住民より二千圓の寄附を申込みたるやにて郡內面一同は大に狼狽し此調子なれば必ず近き將來に於て郡廳移轉の問題も持上るべく斯くては到底郡內面の衰微を免れずとて

現狀維持の 運動を始む

[illegible]の警察署改築に就ては敷地其他入大等相當の寄附を爲すべき條件にて十八日には內務部長十九日には警務課長二十日は警察部長に面會を求めて移轉中止の陳情を爲したる次第なりと右に對し道廳側では本問題は未だ決して居る譯ではないから一應其意見を聽取し更に調査研究を遂げて然る上で何れにか決定すべしとの意見なりと

通信事業收入
前年より增收

朝鮮に於ける大正十年七月分通信事業收入は八十五萬四十四圓にして同月までの累計は二百九十二萬八千五百八十四圓なりこれを前年度同期の收入に比すれば七月分は十一萬五千八百七十五圓（一割九分）累計に於て二十七萬三千五百三十二圓（一割三分）の增收なり又大正十年七月分印紙收入は七十四萬千百二十九圓にして同月までの累計は三百五十二萬五千二百七十圓なりこれを前年度同期の收入に比すれば七月分は二十五萬二千三百七十四圓累計に於て五十一萬五百九十四圓の增收なりと

殖銀招宴

殖銀有賀頭取は十九日の株主總會終了後相談役二十餘名を朝鮮ホテルに招待し正午十二時より午餐會を開催したるが有賀頭取の挨拶に對し鮮人側大株主大郎李柄學氏答辭を述べ各自歡談を盡し午後三時散會せり

吉松府尹着任

吉松新任京城府尹は二十日午前十時南大門驛着列車にて多數官民の出迎へを受けて府廳に入り直に東宮奉迎の準備に關する協議會に臨席せり

齋藤知事赴任期

咸北道知事に榮轉したる前京城府尹齋藤龜三氏は廿日赴任の豫定なりしが船便の關係上一日延期し廿一日午前六時二十分南大門驛發列車にて出發する筈

スミス博士歸鮮期

歸國中なりし南朝鮮メソヂスト教部長スミス博士は八月十日桑港出帆のコレア丸にて家族同伴歸鮮の途に上りしが九月一日頃入城の豫定なりと旭町メソヂスト教會中村牧師宛入電ありたり

滋賀教育視察團

滋賀縣教育視察團二十五名の一行は二十二日午後十時入城し二十三日府內を視察したる後仁川に向ふ筈

辭令（十九日附）

總督府判事（開城） 宇野英當
勅任官を以て待遇せらる
叙正四位
特旨を以て位一級被進

人事消息

◎岩判事赴任 大邱地方法院京城支部判事に榮轉したる元平壤法院書記長黑岩[illegible]一氏は二十一日午前十時南大門驛發列車にて赴任の筈

▲白允和氏（法學士） 本府地方法院判事から京城地方法院判事に[illegible]し氏は民事部に配屬さる

▲大津義一郎氏（一番主計） 二師團より朝鮮憲兵隊[illegible]轉じたる同氏は二十日着任

▲中西寳久助氏（新任[illegible]長） は二十一日午後七時二十[illegible]南大門驛にて家族同伴赴任の[illegible]

▲安田大尉（參謀本部員） 十九日夜入城

▲中村大佐（前滿鐵囑託） 今回聯隊長に新補赴任の途次二十一[illegible]入城

▲久保要藏氏（京管局長） 二十一日朝東上

▲岡濱端正氏（殖銀監事） 二十日南大門出發歸神

▲上田中將（新第十九師團長） 十九日夜入城旭館へ

▲東拓顧問に被命されたる奉天[illegible]け陸員二名は廿[illegible]日午後五十分南大門驛着東拓[illegible]ホテルに投宿二十日[illegible]朝[illegible]支店多數の出迎を受け[illegible]し社內挨拶を終りたる後[illegible]へ旅行せり

▲川上理事 は滿洲に於ける[illegible]察 朝鮮總督府[illegible]の豫定なり[illegible]社務都合上假に旅程を變更し[illegible]日京城發二十日大連[illegible]の途に就けり

世界の旅
△『ナイヤガラ瀑布（下）』 亞米利加にて 中村與資平

[illegible]

内外重要電報 世子殿下御動靜 御召艦動靜 海軍省發表 郵便飛行延期 首領鐵龍通 北條を襲ふ 山林警察隊 運動界 高農軍大捷す

【釜山】[illegible]前講習所長博士松井茂氏の講演「釜山の將來」なる題下に滔落を[illegible]會は十九日午後二時より富平町商業會議所に於て開催せられ所徹に入り細を穿ち確かに頂門[illegible]因に博士を大邱に迎へたる釜山は[illegible]戰爭の交釜山理事官として在任[illegible]以前既に朴知し未だ其の先見施設の半に達せざるもあり曰く南[illegible]市區改正工場地區の區分整理[illegible]總ゆる施設を網大成らさず[illegible]

北鮮鑛業狀況【上】

土狀黑鉛の産額多し 鐵鑛業は頗る振はず

【元山】北鮮に於ける鑛産品は金、銀、銅、黑鉛、鐵鑛、石炭、粘土等である第一金銅は久原の甲山銅山、咸興の大興合名會社の間島天寶山鑛のみであるが市價の瓦落は經營困難を招致し爲に殆ど

休業に近き 稼業縮小を何れも實行したらしい、第二狀黑鉛は鱗狀黑鉛は城津附近、土狀黑鉛は永興附近を主産地として居り鱗狀黑鉛は市價下落と生産費の増加との爲め引合はず現今生産全く廢滅に歸し土狀黑鉛は山下黑鉛工業會社、原商事會社、湯淺黑鉛鑛業所等に依つて經營せられて居るが現今山下黑鉛工業會社經營鑛山の生産が最も多く其の産額が東朝鮮黑鉛産額の

大部分を占 めて居る原商事會社經營鑛山産品が之に次ぐ有樣で客年の總産額は約七千噸であるとの事である、其の輸出先は主として阪神其他の地方にも少許の移出を見た第三鐵鑛は利原郡の利原鐵山利原郡及北靑郡に跨る寶鐵山の二にて前者は利原鐵山株式會社(拂込資本金百萬圓)後者は咸鏡鑛業株式會社(拂込資本金三百萬圓)に依り經營せられて居り

其の産額は 利原鐵山は月産額約一萬噸に上つたけれども戰後鐵價暴落の爲め延いて鐵鑛も亦下落し大正八年末の内地市價噸當り約十八圓なりしに對し目下僅に八圓を稱する有樣で所謂稼業不引合に陷り利原鐵山は前後三回に亘り稼業縮小を實行し客年九月上旬第三回の縮小に依り全く稼業を休止し實際鐵山も亦

同樣の事情 に依り本年一月十日より稼業を休止した相である、第四石炭は通川炭坑、咸興炭坑、生氣嶺坑炭、鏡林炭坑等が主なるもので東朝鮮一帶及び間島琿春地方に亘り各所に之を包藏し品質は優等とは稱されないが包藏量は極めて多量であつて品質も左程劣等炭のみでは無い未だ稼業は始めて居らぬが咸鏡北道慶源郡の古乾原附近に在るものは

最優良品を 包藏して居ると傳へられて居る、斯る有樣で何時かは東朝鮮地方に石炭鑛業の旺盛を見る機があろう而して第一通川炭坑は江原道通川郡に在り最近稼業を開始せられたので未産額は多く無いけれども尚七千五百餘噸を産してゐる

滿洲牛肉の輸出

果して可能なりや

【安東縣】新義州府は本年度に於て稍々理想に近い屠獸場を建設する計畫を立てて居る、亦明年度に於ては總督府の事業として國境に於ける活牛の檢疫所を設立する計畫もあり既に豫算に計上してあると傳へられる、若し

此の檢疫所が 出來た曉に屠獸場の設備が完成した曉には夏期は兎も角もとして冬期間には一ケ月約五百頭位の屠牛をして之を鮮內は勿論內地方面にまで輸出をしようと目論んだ人もある相である、然るに現在に於ては檢疫所の設けがない爲に滿洲から活牛を輸入する事は絶對に不可能であるから主として平安北道產の活牛を屠りて軍隊の食用として平壤や、京城、遠くは

釜山方面 までも輸送して居るらしいが、前に述べた通りに檢疫所が出來て滿洲產の活牛を輸入する事が出來るやうになると新義州の屠場は非常に有望と認むる事が出來るが滿洲特に安東縣鳳凰城地方には目下牛疫の流行は非常なもので最近牛疫に斃死した牛のみで一萬頭以上に達するであらうと見られて居る、滿洲の牛疫たる政家でなければ輕然とはしない

例の支那式で 豫防々疫の檢疫と云ふ方面の設備が不完全であるから急に終熄しさうにもないらしい、檢疫所が出來ると一定の潜伏期間を隔離するのであるから差支ないとしても多少の危險は伴ふものと見ねばならぬ、果して滿洲牛を精肉として內地に輸出する事が可能であるか否かは頗る面白い研究問題であらう安東で販賣する牛肉から見ると肉の性質は

非常に良好 で價額も決して高價でない處を見ても安東、鳳凰兩縣下に生產する牛は肉用として決して內地牛に劣るものとは思はれぬ、要は朝鮮總督府當局の方針に依る事でもあるが、滿洲牛の輸出は國境貿易の上から見ても面白い研究資料であらう

穩かになつた

平澤の民心 郡守大モテの態

【平澤】朝鮮騷擾後一時民心動搖したる結果、騷擾犯人等に對し各名學犯なりと思惟し犯人等を隱匿する等の傾向あり、甚しきに至つては當路の官吏名譽職等に對し猜忌の念熾烈にして往々之等に對し不穩文書を配達する等何となく穩かならざる空氣漲れるの感ありしも平澤附近も凶作當時の救濟其他施設宜しきを得鮮人等に徹底したる處ありたると見ね其後民心頗る平穩に歸し特に郡守朱榮煥氏に對する好感は異數にして氏の發議は一として行はれざるなき狀態なり、倂て普通學校增設の際等も一議に及ばずして立所に其の寄附に應ずる等郡守對鮮民間の融和の情顯る掬すべきものあるは特に喜ぶべき現象なり

築港經濟調査

【安東縣】朝鮮總督府土木課員加藤永吉、尾上千秋兩氏は十五日安東に來り十七日迄滯在し新義州兩市の要望する多獅島築港後の經濟的關係を調査し十八日は新義州に赴き同一目的の調査をなしたりと

天安市區改正

本府及び技手來著 調査進捗す

【天安】總督府土木課上田技手並に本道松本技手は天安市區改正に付十六日來天綿密なる調査をなしつゝあり郡廳の希望により十八日午後七時より天安座に於て都市計劃法並に天安市街設計の法の大綱に就きて適切なる講話をなし地方在住者の參考に資するところあり九時より新築かゞみ樓に於て催されたる慰勞歡迎會に臨めり盛會なりき

銷夏の理想鄉

全州と其の附近 天惠の景趣は捨て難く 交通の便も惡くはない

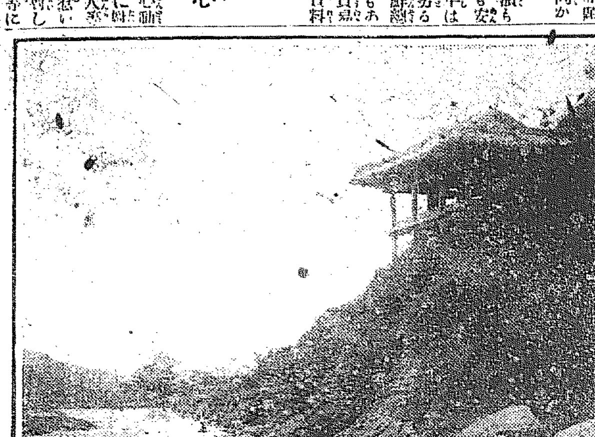
【全州】焦げつく夏の暑さを避くるに朝鮮ほど著しく物足りなく感ずるのはお誂へ向きの納涼地、避暑地の尠いことである。然るに吾が全州はこの點に於いて最も優れる天惠の利を占めてゐる。山にまれ水にまれ繞るみるには實に絶好の別天地であることを誇りとする。今試みに其の二三を記して避暑客の參考に資して見よう。

德津池畔

德津池は全州の市街を距る一里軌鐵も布かれてあり自動車の便もある。約一萬坪もの池の面には夏ともなれば紅く白く亞み競うて咲き亂れる蓮の花の眺めは何ともいはれぬ美しさ、數隻の箱船を泛べて終日釣を垂るゝ雅な姿も見ゆる。池の景趣を偲むところに醉古亭と呼ぶ雅致ある樓(朴北顯氏の所有)が設へられてあつて此頃では未明から瓢を携へ美形を擁して遊覓にと出懸る粹人も尠くはない。この池の水は古から藥水と呼ばれ特に五月端午の節句には何千と知れぬ遠近の鮮婦人が集まり來て水に浸る。一年中の惡疫を除くものと信ぜられてゐるからである。また此處に棲む鮒は藥魚といふ。一尾の價一圓とは素晴しい。運動場としては數千坪に亘るトラックあり。大運動會、自轉車競爭、競馬なども四季隨時に催され遊覽地として稀らしく整うた場所である。

寒碧樓

南門を出て二三丁全州川に沿うて發れば行詰まるところ巖石峨々と聳えた山がある、そして此山の一方川に沿うて驚くべき大巖石の上に一宇の樓閣がある。寒碧樓といふ風光霽月鳶飛魚躍と刻まれた石碑がある。その昔何某が名ある妓生と相携へて凉みに興がつた別莊の跡さうな。樓閣より眼下を望めば滔々銀河の流れあり遠く平原より吹き寄する風は又なく涼しく月夜の情趣に至つては一層捨難き思ひがする。



全州の寒碧樓

多佳公園

全北十萬の人士が選んで明治神宮を祀れる多佳公園は四時遊樂の人絶えず。神前に額いての歸途四方に眼を放たんか全州の市街を脚下に、帶のやうな多佳川の清流は自ら凉味津々たるものがある。多佳公園に渡る全州橋は朴基順の寄附になれるものでまた一の異彩を放つてゐる。

金山寺

金山寺は國有として保存されてゐるほど有名な古刹で目下大修理中であるが之は金堤郡に屬し現在の住職は京畿道參與官金潤晶氏の實兄にあたる人。寺院は結構宏大、附近の森林は鬱蒼として茂り莊嚴極まりなく避暑地としては恰好の場所たるを失はない。全州より六里、自動車の便がある。

天文觀覽終る

【安東縣】滿洲工業學校教諭西岡永太郎氏は十六日安東に來り[illegible]に關し約二十分の講演をなし引續き携帶し來れる望遠鏡を設置して木星の觀覽及び耳目の觀覽をなさしめ同夜午後七時より木星及び月面の觀覽を一般になさしめ同夜前二時半より前日同樣の觀覽をなさしめ一般天文智識に寄與する處頗る多大なりし

【平壤】平壤府出張所の調査に係る八月上半月の統計に依れば輸移出二十六萬六千三百三十六圓の如く前年の[illegible]千百十九圓を增し輸移入は十五萬三百二十五圓を減せり今後一千餘噸入荷の見込なれば此方面の輸入は漸次增加するが八月二十三日より開設する市場開設の[illegible]に至るべし

鴨綠江の流筏

壯觀を呈す

【安東縣】鴨綠江の上流は數日前より漸次增水し流筏困難の狀況なりしが十七日頃より漸次平水に復したるを以て各社の流筏は續々到着しつゝあるが去る十八日まで鏡林廠は約二十萬尺〆到着あり朝鮮製紙會社は十二萬尺と途中停滯の約七萬尺〆ある見込みなれば本月中には二十萬尺〆に達する見込み採木公司は支那筏七千百臺の到着あり鴨綠江流域は流筏の爲め非常の壯觀を呈しつゝありと

柿葺落し

新義州劇場 延十郎一行開演

【新義州】新築中なりし新義州劇場は愈廿三日頃迄に萬端の設備を整ふべく二十六日實川延十郎一行を以て花々敷く柿葺落を爲す

理科講習會終る

【新義州】新義州小學校內に於て開催中の理科講習會は二十日を以て終了二十一日午後一時より閉會式を擧行す

銀行會社

平壤の銀行と東拓帳尻

在平壤五銀行及東拓支店に於ける八月十五日現在帳尻を見るに左の如し(平壤)

貸付
殖銀 五、一六五、七四三圓
鮮銀 四、二三一、〇七六
百三十 一、〇三〇、七三一
漢銀 三、四二〇、六四〇
[illegible] 一、八二九、〇三六
平銀 二、八八六、九五〇
東拓 四、五四六、六九八
計 金三、六〇四、五三七

預金
殖銀 一、〇一五、五三八
[illegible] 五四七、五五四
百三十 七六一、一六一
漢銀 五四七、四五三
[illegible]
平銀 一、〇八六、九四六
計 七五六三、一八九

伊佐奈組織替

合資會社伊佐奈商會は今般其の組織を株式會社に改め總資本金を七千萬圓とし本社を支店を東京安東に置く事となれり取締役は山田第郎、驪田信裕、宮野政輔(以上山口縣)櫻井山城(東京)鴻澤吉郎(石川縣)監査役は西村主太郎(山口縣)なりと(安東縣)

携帶至便 仁丹 一個 金拾五錢 下瀨圖

仁川野球界活躍

後援會亦起つて計畫に參加する

【仁川】仁川體育協會野球部は二十日午後七時三十分山手町靑年會館に於て委員會を開き公設運動場使用條例公布に關し之が便用に就て

協議を遂げ 併せて役員の補缺選擧及び大阪野球團招聘に關して協議する筈であるが更に此機會に於て熱心なる後援者の臨席をも求めて仁川野球界の發展に就て打合せ意見の交換をする事となつた、從來仁川には十幾つのチームを有し各相當の努力を盡し體育協會が斯道獎勵の爲めに

萬般の斡旋 をして來たのであるが尙ほ經費其他の點に就て充分と云ひ得ざる處があり一般ファンは之を遺憾として協會並に野球部の事業を援助し共に仁川球界の進步發展を圖らうと云ふのであり、既に有力者數名の意見も一致し近く具體的に

計畫を進捗 せしむる筈であるから協會と後援會との提携互助と各チームの熱心な練習研究とに依つて目醒ましき活躍を見るであらう

平壤增設電話

【平壤】平壤府內の增設電話は申込締切二十五日新設交換機及電話機の作製中に係るを以て三月中旬頃にあらざれば到着せざるべく愈納期通りに到着せば三月末日までに開通すべしと因に官公署、公共事業に係る申込は既に受附を開始せるが一般の分は二十一日より申込を受け期限は何れも二十五日限りなり自然右申込期間內に其の手續を怠るごときは本年度の架設數に加はる能はざれば希望者は期限を誤らざる樣申込まるべしと

新電信線架設

黃海道奧地利便

【平壤】從來鎭南浦より黃海道東倉浦に至る間の電線は平壤沙里院載寧安岳を經由して送受されつゝあるので地方住民は非常に不便を感じてゐたが今回鎭南浦東倉浦間の直接電線を架設せ[illegible]

送迎會

仁川新舊府尹 盛況であつた

【仁川】仁川官民有志一百餘名より成る吉松府尹の送別會並に新任深川府尹の歡迎會は十九日午後七時より仁川小學校大講堂に催された、總ての準備遲れて待つ事暫時、一同卓子に就けば發起人を代表して吉田會頭の兩府尹に對する叮重なる挨拶があり續て吉松府尹は演壇に立つて纏綿たる情緒にも堪へざるものゝ如く在任一年有半に顧みて惜別の辭を述べ續いて深川府尹の挨拶があり卓上ビールの林立するを見る頃加來榮太郎氏は發起人並に主賓の諒解を得て慨然として中央に出で此機會に於て敢て諸君に訴へたいと前提して水道の斷水に關する事情を述べて痛烈の氣を吐き最後に加來氏の音頭にて陛下の萬歲を三唱午後十時散會した

汽罐汽機の檢査

【新義州】平北警察部に於ては來る九月一日より新義州府を始め北鎭定州等に於ける諸工場の汽罐汽機檢査を行ふと

地方集會

◎西湖津集會 前代議士の肩書を持てる伊藤西湖翁は安東縣に來り[illegible]株式會社の樓上に[illegible]二十一日午前十時より同所に於て會員に抽籤配當を濟ましたが相當多數の申込みがあつた相だ(安東縣)

地方人事

▲神田長平氏(京南鐵道株式會社支配人)十八日社用を帶び京城に出張十九日歸天(天安)
▲竹內技師長(京南鐵道)社務打合せの爲め本道[illegible]に出張十九日頃歸社
▲藤平泰一氏(滿洲商業銀行取締役)大連支店設置の用件を帶び同地出張中なりしが二十日歸任(安東縣)
▲峰大佐(關東軍憲兵隊長)來る九月二十一日安東に來り安東憲兵分隊を視察
▲諸平泰一氏(滿洲商業事務)十七日安東支店設置に付各方面訪問中
▲西山旅團民政署長 十七日土岐事務總長出迎の爲め來連翌日歸任(大連)
▲小早川金州民政署長(同上)

斷水と其の理由

仁川市民の誤解を釋いて 自覺ある節水が望ましい

仁川水道事務所 佐治主任談

【仁川】仁川の斷水に就ては屢々に水道問題の解決報告を終へた計りで絶對に斷水の憂ひなしと宣傳せられて數日を出でざる事とて一部市民の間に大なる誤解を招き之が爲め水道委員も少からぬ遺憾を感ぜられたるやに聞いて居るは水道當事者として洵に忍びない次第であるが給水制限の實情に就ては尙ほ充分御了解を願ひ此の機會に於て一般に相戒めて大節水の斷行を希望したい、制限給水の原因は連日の暑熱に使用水量が增加し取水池の水位が著しく低下したので之が爲め餘儀なくされた矢先十四日朱安港底の送水管に故障を生じたのも大なる原因の一ツとなつて居る元來、ポンプの給水能力は一日十八九萬立方呎に過ぎない然るに最近の使用水量が一日二十三萬立方呎と云ふ多くの記錄を示し爲に漸次配水池の水位が下つて殆ど餘水尠くなつた給水制限は此の狀態にして已むを得ない事情に迫られたのである

◆仁川の使用水量は今年の如く多量を算した事がなく前年の如きは最多量一人當一石六斗四升を算したのが今年は一日總量用三萬六千立方呎で一日一人當り一石九斗八升を算して居る而も給水戶數が增へないで此給水量が增加したのはそこに濫に濫費を認むる事が出來るのである勿論暑さの爲に多少の增加は已むを得ないとしても甚だしきに過ぎては之が制限を設くるのは餘儀ない結果としなければならぬ尙も十五日以來制限給水を實施した結果一日十八萬八千立方呎に減じ一日一人當一石六斗三升と成稍昨年の最多量と同數を示すに至つたが以て聊か節水されてゐるとも觀る事が出來る

◆當事者としても好むで制限給水を行ふものでないから市民の自覺に俟つて節水が出來るとすれば敢て斷水せしむるの要を認めぬのである京城に於ても從來夜間の制限に過ぎなかつたが仁川の狀態にも鑑みて更に晝間も斷水となつて居るから仁川も晝夜二回の使ひ放題に使つて其殘りを京城に分與するなどとは少々從來考へなければならぬ事であらう

◆要は仁川の濫費を防止する事が出來一般に自覺的節水が出來れば制限はしなくとも宜しい若し此の保證が出來たら一兩日中には通常に復したいと希望して居る

驚くべき發見

人間が病に罹つたり又は年を重ねてから元氣が衰へて行くと言ふのはプラスマの減損に因るのであるプラスマと言ふものは人體の細胞中に在る健康の素とも言ふべき大切なるものである。若し是を補ふものが有れば決して老衰もしなければ病氣にも罹らない其證據には老人や病人の身體を試驗して見ると其細胞中にはプラスマは至つて少く、死んだ人の身體には絶無である。是を見てもプラスマが人體の生命の素と言ふ事が能く解るであらう。故に人間の身體にコノ無くてはならぬプラスマを常に補給する事が出來るならば、醫者の厄介にもならずに働く事も出來やうし又六七十になつても三四十の人と同じ樣に元氣よく活動して行かれる譯である。それが爲之迄此の學說に基いて多くの研究が試みられたけれど此のプラスマの完全なる補給方法は容易に發見されず長い間難問題として殘されたのであつた所が醫術の進步は終に此の問題を解決して驚くべき發見を齎したのである夫は坪井工學博士の熱心なる研究と努力とに依つて發明された滋養強壯劑活力素なるもので此活力素を常に用ひて居れば自然とプラスマを補給するから病者はその全治を早めると同時に氣力を增やし虛弱は迅にその健康を恢復し持續するは勿論年を取つても氣力は衰ふことなく髮の毛は黑よりも黑く高齡に至るまで若き壯年の時と變らぬと云ふ所に不老不死と稱するも可なる不思議の藥劑である。博士は發見の始めに當り先づ之を自身に試み研究せられた博士の實驗に依れば初めは何等の容態の效能も認めなかつたが日を經るに伴れて驚くべき效果を感じられたのである。先づ頭腦の働きが靈活になり、從つて神經の爽快さを覺えたのであつた。隨つて疲勞態度も何時しかなくなり活動能率の著しく增大を來したのであつた、また消化を助ける結果食慾の增進を見便祕をゆるめ便通を正しくする等豫想外の成績を示したので博士自身もその偉大なる效驗に驚かれる程であつた。そこで是を二三の友人に分與して試用させたが老人は素より婦人小兒に至るまで悉く「活力素」の活力素たる完全の效驗を實揚して已まなかつた。かくて希望者が多くなるに付け、廣く之を世の人に與へたならば國家に益を與ふる事多大なるものと考へられ、此處に一般の需めに應ずべく發賣を承諾された次第である。實に世にありふれた賣藥の如く徒に誇大なる廣告を用ひて發賣することは堅く禁ぜられた、因に活力素は東京市京橋區五郎兵衛町五活力商會に於て發賣す定價は三〇五一圓八十錢(約一月分)送料十二錢外に十二圓、廿三圓の德用瓶もあり送料廿七錢、卅六錢の由

後和下劑 ラキサトール
便秘症殊に常習性便秘症に用ひて卓効を奏す
本品の特長とする点は用量頗る僅少にて奏効し無味無臭なれば婦人、小兒も內服し易く、何等の副作用を呈せず且つ習慣性を來さざるにあり
錠劑、粉末二種あり(伊藤賢 中山太陽堂 御取扱 御申越)
發賣元 大阪道修町 株式會社 鹽野義商店 東京出張所 日本橋區本銀町三ノ九
(63)

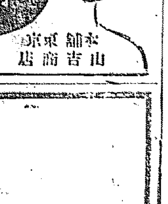
內科 胃腸病 石川醫院 京城本町一丁目 電話一三九〇番 診察時間午前九時より

株式會社 平壤銀行 平壤大和町 電話七二二番 七四二番 振替貯金京城七九七三番
株式會社 平壤銀行鷄里派出所 平壤府鷄里 電話八六二番

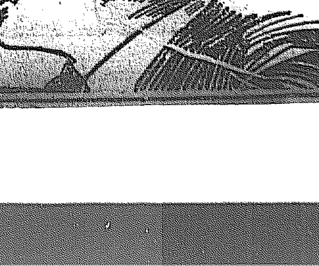
實効本位 胃腸全治 下痢腹痛專門藥 一道丸 大人用 小人用 はらいたキット治る くだりキット止る 本舖 大阪 橋本合資會社製 (到る所藥店にアリ)

強胃消化錠 マーゲン 本舖 大阪 吉田保藥房

君が代 あらかみ毛染 染法二種十分間に染まる 毛質を傷めず 色つやよく 染毛を保つ 自然の色 特製四十錢 大瓶小七十五錢 地方の藥店にあり 本舖東京 山吉商店



夏のクスリは 消化と 殺菌力の 強大な 代表的懷中藥 寶丹 迷はず
惡疫流行の今 其眞價は實に百倍
主効 氣付、食傷、中暑、下痢、消化不良、暈船、車酔、頭痛、腹痛、吐瀉、眩暈、惡疫豫防
定價 金十錢 金廿錢 金五十錢 金壹圓 金貳圓 金五十錢以上に寶丹散添附
本店 東京下谷池之端仲町二七 守田治兵衛 振替東京二九八五番
支店 大阪市東區平野町一ノ四 振替大阪五七七三九
全國各藥店にあり



オトギバナシ

傳說物語 厚東判官（上）

藤川淡水

時代はいつ頃のことだか、はつきり分らないが、昔長門國に厚東判官といふ大名があつた。厚東判官は今の厚狹郡の厚東村に城を構へてゐた。形ばかりの城跡が今も厚東村に殘つてゐる。併し城跡だと思つてよく見なくては、ちよつと城跡とは思へないほどである。

判官には子がなかつた。一城の主であるから、外に不足は何一つないと言つてもよかつたが子のないことが判官に取つては大きな不足であつた。生れるところには、一年に一人づゝ生れるところがある代り、生れないところには、どうしても生れないのが子寶である。流石の判官もこればかりはどうすることも出來なかつた。

『まあ仕方がない、こればかりは諦める外はない。』

と判官は止むを得ず諦めた。併し淋しくて堪らない日が幾日も／＼續いた。

『これはいけない。子のないといふことは、こんなにも淋しいものか。とても我慢が出來るものではない。』

と判官はその淋しさに堪へかねて、その淋しさをまぎらすことに就いていろ／＼と思案をこらした。そしてやつと思ひついたのは珍しい金銀寶玉を集めてそれを樂むことであつた。

『うん、さうだ。さうしたら氣がまぎれるに違ひない。』

判官は思ひ立つた日から、國々に使ひを出して、珍しい金銀寶玉を集めさした。國々に派遣された使の者は、珍しい金銀寶玉を買ひ集めて來た。それらのものが判官の寶庫に澤山集まると、判官は奥方と共に我を忘れて眺め入つた。けれども幾度も眺めるうちには飽きて來る。

『もつと珍しいものを集めてまゐれ。』

と判官は家臣に命じた。家臣は八方に馳けまはつて珍しい金銀寶玉を集めて來た。三年ばかりの間に集められた金銀寶玉は、判官の寶庫一ぱいになつた。中にも金の雞は世界に二つとない珍寶であつた。金の雞は生きた雞のやうに夜明け／＼には時を告げる不思議な雞であつた。判官は最もその金の雞を愛してゐた。

ある日判官は奥方に向つて、

『この澤山の寶物をたゞ吾々二人で眺めるのは惜いやうな氣がしてならぬ。家臣一同の家族どもにも見物さしてやつてはどうだらう』

と言つた。奥方もそれに異存はなかつた。

『それは何より結構なことでございます。私もいつぞやさう思つて見たことがあつたほどでございます』

『それでは二三日中に見物さしてやることしよう』

と判官は家老とも相談して、寶庫にあるだけの金銀寶玉を城の大廣間に飾らせた。そして家臣一同の家族に見物を許すことゝなつた。寶庫の中の金銀寶玉を大廣間に飾らせると、家老からそれ／＼家臣一同に寶物拜觀の御諚を傳へた。

喜んだのは家臣一同の家族であつた。いよ／＼その當日となると、晴衣を着飾つて城門からくり込んで來た。大廣間に集まつて來た人々は生れてはじめて、稀代の物を拜觀して驚きの叫びをあげた。それが判官夫婦に取つては何よりも嬉しかつた。

ところがこゝに兼村何某といふ高祿の家臣がゐた。兼村には七人の子があつた。七人とも揃ひに揃つて美しく丈夫だつた。兼村夫婦はその日その七人の子を連れて見物に來た。大廣間に集まつてゐた大勢の人々は、言ひあはせたやうに、寶物より目を離して、兼村夫婦の後に尾いて來た七人の子供に見惚れた。この有樣を眺めた判官夫婦の顔色がサツと變つた。

何をしに何處へ

十九日入城した高柳少將（左）

府尹の送迎會上に 水道問題花咲く

仁川水道が殘した三日間の斷水の記錄を見よ

仁川水道開設以來初めての汚點とすべき斷水の記錄は八月十五日以來三日間に亘つて明かに殘された。二十日を以て一先づ斷水解除に復する事とはなつて居るが、此の斷水は幾多の水道問題解決後幾日も經だゝぬ。市民は假令其の別個の問題にあるにしても頗る之が識別をあやまり奇異に感じて批難百出の狀態に(な)つたのは爭はれぬ事實であつた、從つて幾の水道委員なる市民に對し甚だ苦しい立場に置かれたのであつた、時の委員長加來榮太郎氏は斷水當時より各方面を腐心して其の時機に非ざるを說き特に水道當事者と懇談を重ねて速かに之が解除を懇願する處があつた此時である、加來氏は其の配水狀態を調査して中心甚だ遺憾に堪へないものを發見した、卽ち此京城府尹たるべき吉松府尹と新任深川仁川府尹の送迎席上に於て憤然として其事情を陳述し一つは兩府尹の參考に資し一は以て代表的市民への報告に代へたのであつた。加來氏は激勵一番して曰く

然し乍ら今次の斷水の原因に就ては單に市民の濫費濫水は御互ひに相戒めて之が矯正を計らねばならぬ、仁川市民の濫費してのみにせむるは仁川府民をして不德漢の如くにせむるは非常な得ない處ろ此の同情すべき點ある發熱の折柄通常に比して一割の使用水量が増加する位は當然で決して之が濫水と認むべきでない

然るに反對に水道當局の誠意を疑ふ事實を發見したるが故に以て斷水の最大理由として

諸君 報告の倫巌なきに到つた卽ち左表の送水量を見ば思ひ半ばに過るものあるべしてある試に其日を指摘すれば八月三日以降仁川貯水池へ送水したる水量は毎日補助鐵管を使用して一日十二尺の水位を送水して居る然るに故意か偶然か我が水道委員が市民に對し絶對に斷水の憂ひなしと宣傳したる當日卽ち八月十二日より俄かに送水量を減じて

一日十尺に低下し殊十三日も亦十尺而して十四日に故障の爲めに僅かに六尺八寸を送水、復舊後に於ても依然として十五日十尺六寸十六日十二尺四寸の送水に過ぎぬ然も水道當局は貯水池に於ける給水はポンプの支障が來ず途其の能力の全部を注いで居ると說明せるが仁川の送水は却て減少を來す

平 常よりも增加して尙ほ且つ貯水不足と云へば市民も諦めらるべし然るに必要の時機に於て却て送水を平常よりも減じて濫費くさ喧傳して非難な市民の濫水に藉せんとして居る吾人は空と此の事情を默するに忍びない、然し乍ら今日に於ては亦何をか言はんやである吾人は只水道當事者の手加減に依つて此の事を知り默して自から堪ゆ、覺悟を必要とする……

た不思議の結果を齎らして居る果して之を如何と觀るか、此の點に送水量を

諮 調痛烈を極め眞に市民代表する一大獅子吼であつた會衆絶叫す拍手を以て之を迎へ最後に何をか言はんと一同起立して陛下の萬歲を三唱して此無念を押へた（仁川）

營口通信

▲虎疫豫防注射 營口民團にて［illegible］

▲東宮御渡歐活寫 東宮殿下御渡歐第二回活動寫眞は十五日午後［illegible］

獨立守備第五大隊長山口啓太郎氏執行官となりて出張せり。▲大連其他より數十名の者もなく成績頗る良好なり在鄕軍人會よりは古川分會長樋口監［illegible］問題等に就て各種の試問を各員に試みたり。

▲上海の時疫と當地 上海には［illegible］注意を拂ひ居るも幸今に疑はしき者を發見せず太石橋地方事務所の松村醫師は之が調査のため日本商輸出なく從つて當地油［illegible］

▲七月中支那油房の製品高 近來內地豆粕相場逆轉み稱ふる爲［illegible］

振興	五〇、〇〇〇
鴻興	一五、六〇〇
同合	一二、二〇〇
與志	四八、〇〇〇

慘めな生活をしてゐる 國境方面の警官

第一着に道路を改修せよ

永らく國境方面を視察し此程歸來せる某有力者は談に曰く

鴨綠江沿岸特に碧潼方面の上流各地では物價の高いのに驚いた一例を擧ぐれば米一升五十錢ビール一本一圓から一圓五十錢サイダー一本九十錢といふ突飛な高値である其他の諸物價は之に準じて非常に高い從つて此の方面に在職せる官公吏等は少々の

增手當が あつた處で足りはしない實に慘めな生活をしてゐる殊に同情すべきは國境警備の任にある警察官である彼等は現に不眠不休で其任務を遂行して居る物資は多く惠山鎭、新義州方面より船に依つて運んで來る魚としては川魚のみ海の魚など見た事がない牛肉の如きも殆ど喰つたためしがない咸南新

乫坡鎭は（新義州十三道溝）に面する現在殷盛を極めてゐるが之が原因は長白江奧地よりの

流筏が殆 ど同地に集り更に同地より安東新義州方面に送らる、關係である門下內地人五百人餘人約二千餘人定住者三百餘人、一時滯在者四

とに此方面の林木は大半伐材せられ木材の命數が盡きんとする狀態で同地の繁榮は漸次平北東興に移る、事になりはすまいか實に同地の一大問題であらう營林廠の一大寶庫とも稱する南社の木材は東興より南社川を利用して流筏さる、過日同地に

郵便局が 開設され漸く發展の氣運に向ひつゝある南社の木材は無盡藏で營林廠は全力を傾注してゐる而して物資は安東縣新義州方面から新乫坡鎭まで約二百四里の間高瀨舟に依つて遡り更に鴨綠江岸に散在する各部落に供給さる、此間少くとも二ヶ月の日子を要する目下發動汽船の航行試驗中であるから之が完全に航行する樣になれば非常な便利である從つて各江岸の居住者は從來より割安な物品を買ふ事が出來るであらう

江岸一帶 は殆ど道らしい道がない、新義州より朔州まで自動車の便があるのみだ此方面の開發を期するには第一に道路の改修が急務であるが尤も奇異に感ずるのは鴨綠江岸に居住する支那人の大部分は朝鮮の郵便局を利用してゐることである而も現金の送受は一切之を利用する之等は支那の郵便局が不整備で危險であり且信用が出來ないからであるといふ（平壤）

□□□ 虹彩よりも □□□

果敢い戀の物語（三）

『私は一生貴方を恨みます』と彼女の聲は高く響いた

小枝子と朴の宿つた旅館の傍には古ぼけた活動寫眞の常設館があつていつも日暮になるとコールネツト。大鼓クラリオネツトだら／＼小太鼓、の樂が奏でられて『熱海海岸散歩する』と言ふやうな鄙俗のやうなメロディはピユー／＼吹く北風のために街路の砂塵と一緒に吹き飛ばされて行く

一月、二月と時は疾風の如く過ぎて憂鬱と溫突の火氣に小枝子の頭は痛み通して、『あゝ詰まらない』と揉み上げを押へて呟く事もあつた。朴春鐘は毎日朝から晩まで外出してしまつたやうに小枝子の存在を忘れて遊びまはつて居た熱愛も散し戀愛を否定された小枝子の頼り無い身はまるで籠の鳥のやうに苛立つて居た、朴春鐘の處には日增しに訪問客は多くなつた、良い洋服を着て頭髮をオールバツクした貴族の若樣のやうな恰好した者ばかりだ。然し強いパイレートを吹つて居る彼等はみんな無賴漢であつた。彼等の詐欺の蜘蛛の巢を張つて親分風を吹かせたり。大人を氣取つたりした。また素朴の田舍者と見れば、巧に彼等の手に欺かれて沈溺するのであつた。朴春鐘も巧に弄絡して酒食に京館や明月館に遊び暮らした、そして『先生』と言はれて高慢になつて無賴漢の恐にもつかない讃嘆や拍手に發大振つて居た。一方朴の實家では彼の歸國を知るや大喜び、許嫁も老父も歡待の限りを盡して彼を迎へた。忽ちに蕩兒に變じた朴は我家に來り久方振に娘の李氏を見た時に眼を睜つて李氏の楚々とした姿に惚じて居るが考へてみれば小枝子は可憐では無いか、赤坊が離いた朴春鐘は李氏と小枝子と妓生と限りない淫蕩に身を沙漠に投げ出された如く、頼る術を失つた小枝子は毎日ヒーヒー泣くのみであつた。

朝鮮の冬は三月に終ると極めて迅速に春は還つて來る、櫻は咲き牡丹は綻び。紫色の桐の花にはぬるい五月雨は降るある日、小枝子は決心したやうに酒に疲れた朴春鐘に言つた『貴方の心はよく判つて來ました。欺かされたのです』と言つて『貴方には何が何だか判らないでせうが私はもう貴方と別れます。どうか別れて下さい。けれども私の事は忘れて下さい。と私は一生貴方を恨みます』と小枝子の聲は凛として高く響いた。朴は一時は小枝子の强い氣勢の前に逡巡したが、むら／＼と彼の心に酒に痺れ切つて野性が涌じるといきなり飛上つて內地の車屋が女房の髮を引き握つてベラボーメと言ふやうな眞似をして小枝子を力一杯に蹴飛ばした。彼の女は素早く轉んだ身を起すとキツト朴を睨みつけた。それは東京を出る時の可憐な藝妓では無く草原に狂ひ咲く鬼薊であつた

婦人と社會

小兒の慘虐性

都會の兒は田舍の兒より動物を虐待する

小川實也氏談

兒童は慘虐性に富んで居るものであります今頃でいふと蟬を採る蜻蛉を採る蛙を捕まへるしかもその蟬を鳴かせに啼かせやうとする蜻蛉なら翅をピンで綴ぢたり翅を短く切つたりして鳴かなくなると諦めても鳴かせて後から追つて周章てふためくのを見て興ずる蛙なら四肢を針で止めて

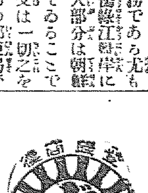
解剖の眞似 をして殊にそれが蟷螂のやうな反抗のあるものとか蟹のやうな鋏を振上るものとかには「生意氣だ」など、先方の武器を捥ぎ取つて仕舞ふと云ふ風です無論それは單なる悪戯心からそれ等の小動物に對して慘虐を加へるものもあるけれど極幼い兒とか精神能率の非常に低い兒とかで生物と無生物との區別の出來ないものも可也あり『生意氣に僕に抵抗するな』と云つたやうな氣持で忽ちのうちに片付けて得々と

優越感を得 るといふやうなのもあります。また例へば美しい蝶がヒラ／＼と平和の翅を打振つて來ると俄然蜘蛛のかねて張り置いた網に引掛つて仕舞ふ、斯う云ふ場合に憐愍を感じて蝶に加勢して蜘蛛を殺すやうなのもあります。

そして其のやり方が男の子は亂暴でビシ／＼と遣付けて仕舞ひ女の兒は陰險でチネ／＼と遣りますしかも田舍の兒童よりも都會の兒の方が

過に慘虐性 が熾烈です。それは珍しいから未だ飽ないので此のやうに興奮のある玩具一其の時には對象を玩具視して居るものであります凡て何も無いのに所謂いと飽氣ない……こなつて遂には殺人をも敢てし殺人犯の原因の大多數の少年時代の慘虐性に基因して居るのを見ても知る事が出來るので親たる者は兒童の慘虐性に對して

深く注意を 拂はなければなりません殊に低能な兒童は自ら注意しないと遂には恐るべき子を造つて仕舞ひます慘るべき子を造つても無暗に抑へ付けないで最初にその兒童の慘虐性が何處から來て居るかを見てから教育の方針を立てなければなりません。



痔ならこの藥

東京肛門病院長 谷・泉先生創製

肛門病治療藥「ヒット」

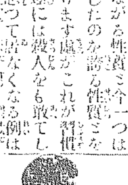
切らず灼かず自宅で手輕に治療が出來る

東京肛門病院長谷泉先生は肛門病を專門に硏究せられたる斯界の泰斗にして本邦に於て、始めて肛門病專門の病院を創立されたのも亦先生であります。先生は爾來三十有餘年間同病院に於て幾多の肛門病患者を診療せられたるは勿論、肛門病硏究の爲めには、その患者の最も多き臺灣、朝鮮、支那、歐米、西伯利、南洋、印度の各地を悉く遍歷され、あらゆる肛門病に就て實地診療硏究を遂げられたのであります。さうしてこれ等多くの患者は手近に專門の良醫なく適切なる藥劑なく、それが爲めに苦しみ惱みつゝあるものなるを以て先生は、これが救濟法として、自宅に於て手輕に治療し得る肛門病治療藥「ヒット」といふ藥劑を創製せられ本藥部に一手發賣を委れ廣く一般に頒布するとともにせられたのであります。この藥は坊間にありふれた藥と違ひ斯る目的を以て斯道の專門大家谷泉先生が三十餘年間の硏究の結晶になり貴重なる藥物を配劑された最も進步せる科學的藥劑でありますから誇大な吹聽や廣告をする いかさま藥とは其趣を異にし、最も信賴するに足るものであります。

痔核（いぼぢ）肛門裂創（さけぢ）痔出血（はしりぢ）脫肛（でぢ）痔瘻（あなぢ）肛門周圍炎（かゆぢ、ただれぢ）其他の肛門病に苦しみ色々の藥を用ひても治癒しなかつたといふやうな方は一日も早く本劑をお試みなさい。若し更に詳しき說明書入用の方はハガキにてお申越次第院長の述べられた「自宅治療法說明書」を無代進呈いたします。藥價は一週間分一圓十錢二週間分二圓五週間分四圓八十錢、送料市內十二錢內地十八錢滿鮮臺灣樺太二十五錢、各地有名なる藥店にはあります。若し無き時は直接發賣元へ御註文あれ。一手發賣元東京市京橋區北紺屋町一地東京肛門藥品部（振替東京四三三四九番）特約店は（東京）玉置、三木、岡井、中田（大阪）高橋、丹平、小林、寶榮會社（名古屋）小林本店、販賣希望者は發賣元又は特約店へ申込まれよ（こゝに掲げました說は院長谷泉先生が痔疾硏究診療の爲め南洋各地を巡廻された時の記念寫眞です。總體は醫長、白服は村長です。）

若い女の解剖

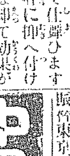
本書は彼の有名なる春本家の小栗風葉がまたやみなやまされつゝ半生の精力を傾注した最大の傑作を…骨髓に徹して（一名白露の戀）禁斷の書…



戀愛人情 女性の秘本として裏表を……

性慾

振替東京四二九三 有文館



中風病

家は祖父及び父と母の三人共中風病にて困難したる遺傳系統にて此悲しき實驗より苦心の結果發見し得て政府から許可を得た石の中風の藥と登錄された名藥を新聞紙上にて紹介し尙詳細なる說明書は御照會の方に無代進呈す

京城府明治町 加古忠兵衛

男女 無職業者に急告 高尙で收入多大

有望 新職業 得られよ

學歷不要 素人にても一ヶ月の短期間にて修業が出來る卒業後は自宅にて開業し又は官衙會社工場等に就職出來ます今すぐハガキにて申込へ詳細なる說明書一冊無代進呈

開業 高級 就職

東京小石川區大塚仲町 東京齒科學院

大慘落の本場銘仙 一反四圓八十錢

過去十年間吳服類の見切賣を以て當地方に顧客を有する本場足利組合直營東京日本橋區本石町一丁目吳服問屋谷商店は其營業振りが何時でも現金取引なる丈に世の中不景氣の今日多々益々安いものが流れ込み現に一本も交ざらない本場銘仙が一反只の四圓八十錢といふ驚くべき品物の擱り出し物あり此際愛讀者に勸む是非振つて試す必要あり同意の方は男女の別年齡を記しハガキにて申込めば代金引換郵便にて送る由

登錄商標 名古屋市中區本町 清酢 マルカン印

京城明治町二丁目 特約販賣 株式會社 京城支店 電話八四一、四九四、四五〇番

京城本町二丁目四六 山本商店 電話五七五番

京城本町二丁目八四 藤田商店 電話三九番

水車唐箕 製造販賣 京城元町二丁目 電話 取次一四七 飯田工場

鍼按灸は最も信用厚き 德永鍼按治療院へ 主治 胃腸病、神經痛、子宮、血ノ道、リウマチス、脚氣、腦病、氣管支炎、齒痛、マラリア

貴金屬製作 時計眼鏡 仁川本町 糸岐商店 電話三七〇番 振替京城七一番

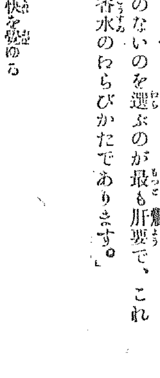
資本金五千萬圓 積立金貳千九百五十萬圓 京城府南大門通一丁目九番地 株式會社第一銀行京城支店 頭取 佐々木勇之助 支配人 藤森忠一郎

香水の選擇法

素人の方では、香水を買ふ時に値段の高いのを安心して買はれる例があります。これは第一の誤りで値段が高いからとて香ひが良く品質が優れて居ると定まつたものでありません。實際高尙溫雅な香ひに癖のない香水は、すれ違ひにも人品がうかゞはれます。この香ひに癖のないのを選ぶのが最も肝要で、これが眞に玄人の香水のえらびかたであります。

高尙優雅 一滴よく終日の爽快を覺ゆる

名品 レート香水



一瓶定價 大瓶 金壹圓 中瓶 金七拾錢 小瓶 金五拾錢 小形瓶 金參拾錢 徑瓶 金拾錢

レート白粉 クレーム石鹼 本舖 東京大阪 平尾贊平商店

……中の所［illegible］く到來せるを以て十八［illegible］日十九、二十日の三日間會口［illegible］無料［illegible］院この二箇所にて無料［illegible］を行ふべし

［illegible］小學校に於て行はる大石橋より及大石橋よりの分は一人の遲刻［illegible］

他は當地の在住者にして總［illegible］四十餘名大連其他の分にて名の無斷缺席者ありしのみ當［illegible］

各国の各行政委員、末光弘……誠に次いで軍紀、風紀、……行……［illegible］九時迄に點呼終了……後講堂に參集執行官より勅語……關係あり……何時病毒を輸入する……保し難きを以て當局は嚴重の……を遂げたり

……［illegible］……七月下旬迄至つて……京城の……協議し……房舍も不……際は直に……興造を中止せる者多し……く打合せを……

東大永茂	一二六、〇〇〇	休止
王盛發		
滿洲西義興	一四、四〇〇	
興源長	一七、四〇〇	
興源東	一二、六〇〇	休止
日新昌	〔三〇、〇〇〇〕	

連絡船乘客
◎十九日朝入港すべき高麗丸は海上……

金剛山探檢　天幕旅行
太古以來の仙境人間の眼前に展開
中金剛の絶勝を紹介す（上）
仰げば百餘尺の懸崖より飛瀑鳳龍に似たり
岩壁の青苔に颯と吹く松籟に鳴る枯葉
特派員　田邊椋鳥

我が探險隊一行は七日午前八時半雨を衝いて枕流峽を出發し此より東行すること約三里半卿來九時間を費して三聖庵に到達す、此の間の勝景轉た言語に絶し新舊内外の各金剛と比較して遙かに優れるものあるを看得す、一行は鳩首協議の結果前記一帶の地を中金剛と命名し新たに江湖に紹介する事になつた詳報即ち左の如くである。

斷崖谿谷を跋渉した一行

天幕を貫く雨の一夜を枕流峽畔に明かした一行は、夜の戰慄から醒めた七日の黎明を味噌汁の數杯によつて暖をむさぼりこれより三聖庵に向つて出發せんとしたが長雨以來雨に惱まされの中には胃腸を痛めて下痢を訴へる者も尠くなかつた殊に島村藤伯の如きは前夜來十數回に亘る下痢の爲め一夜にして顏色憔悴せるのみか唇蒼ざめ微に震ふさまはたの見る目も氣の毒であつた、その身體ではとても行けますまい、今日一行の跋渉する所は眞に前人未踏の地であり險峻連續して生命を賭はんとする難所であるから食糧隊の一行と共に迂回するか、それとも赤温井里に歸るがよろしい」と云へば氏は蒼然たる面をあげて「死ぬ氣で來たのです、死んでも心配はなさいますな、山でも野でも構はぬから屍は放擲して進んで下さい、歩む力は尽りなくとも行くだけ行つて死ぬ覺悟です……」

悲壯の色面にあらはれ

て辛くも應へた氏の言葉は一味の凄氣を帶びて余の肺腑を突く、前間氏及余等の下痢患者も氏の言を聽いてはさき程まで前途の難險を案じてゐたことなぞ顧みて慚愧にたへず、自己の意氣地なきを叩きたくなつた、而し如何程氏が覺悟しても到底歩み難きは歩めない、斯くて萬斛の恨を呑んで食糧隊の人夫に守られつ、溪流に沿ふて迂回路を辿り行く氏の後姿を見送つて一行が雨の枕流峽を出發したのは午前八時半頃であつた。北行數丁にして花崗岩盤より成る左右の峻峰にはさまれた溪流の風致の美しさ、仰げば巉巖峻嶮た、

の眺め邐迤として一行の眼前に直立し滿山の赤松を孕んで颯は颯々と響き

未踏の神域はそゞろに

展開する。余は此附近を松籟峽と名付け、羊腸生命がけの峻路を攀ぢて約二丁程前進すると高さ二丈餘の溪谷から二た股の瀑布が眼の前に懸るこれを双瀑瀑と命名し左折丁餘を行けば又々瀑布現る色彩の佳良前者に數倍し左右の斷崖を掠めて行く白雲の變化よろしきを得て飛沫こぶ茶淵の傍に立つ一行の血潮は躍り立つ此より上流五六丁のあひだを白蛇流と命名し此所天羊君の飛躍と相俟つて風致は凡てレンズに納めらる。

白蛇流は花崗盤の大斜脈を宛ら流矢の勢ひを以て或は瀑となり早瀬となる逆流であつて端より端に走る風颯は又もない今を去る一千二百年以前恰も

新羅の時代に於る野武

士の通過した形跡はあるが爾來絶えて人跡なく今猶太古の觀を見せてひそかに深峽を流れてゐる

午前十時半鮮人曹風振の名付けたる（千三百年前）九岐瀑のほとりに到達す、仰げば百餘尺の懸崖から飛瀑鳳龍の狂ふが如く潺々爆々の音を傳へて底知れぬ深淵の口に瀉ぎ岩壁の青苔原始的面目を見せて颯と吹く松籟に鳴る枯葉にも大自然の囁きを聞く心地がする。九岐瀑の右崖をよぢ登つて落々たる溪流の石上を飛び傳ひに約二丁程行つた頃、後方にアッと云ふ叫喚が聞ゆた、驚いて後を振りかへると天羊君コダックを携帶の儘、高さ丈餘の石上から

全身水を浴びたのみで

急轉直下の慘事を演じたのであつた幸にして淵の極めて淺かつた爲め這ひ上つたが、コダックは遂に用をなさなくなつた『全く想像以上の險阻だ、一歩誤つたら最後なんだから……』天羊君自らつぶやきながら遲れじと追ふてくる、一行の行手には全然路はない唯谿谷ぬのまゝ後を追ふてくる、の行手には全然路はない唯谿谷を渉り草木を掴んで僅に斷進を續けるのみである

本社探險隊が命名せる　松籟境の九岐瀧

殿下の演説に歐洲人も敬服す
供奉員迄鼻を高くしたと
小栗司令官談

【新嘉坡十九日發電】第二艦隊小栗司令官は語る　長途の航海の事なれば多少荒れたる事あるも殿下は常に活潑に御運動等をなされたり殊に歐羅巴御旅行中殿下の御演説は實に堂々として歐洲人も極めて敬服し居れり殿下の御行動が常にテキパキと御健實なりしは最も御頼もしく供奉の我々も常に鼻を高くするを得たり

全國青年團代表第一線に奉迎す
學識人物相備はれる青年代表者を選抜奉迎す

【東京發電】全國青年團代表者が東宮殿下の御歸京を奉迎する事になりしは青年團として至上の光榮にして殊に全國百十萬青年團員中之に選拔せられし青年團は代表としての光榮のみならず其の青年團として無上の光榮なれば從つて今回の奉迎代表者選拔は頗る愼重を期し各府縣に於ては知事より郡市長に更に郡長より管下各町村に通牒し學識人格相具れる青年を代表として出さしめ之を

詮

衡し郡役所にて嚴重なる抽籤の上代表を決するものにして各府縣は大抵三十名以上の奉迎者を送る筈なれるが新潟の五十名東京の四十九名を最多とし岡山、廣島の四十名、長野の三十八名、茨木三十名、島根二十九名、岩手、山口の二十六名等多くは三十名内外なるが沖繩は國が國だけに三名を出すにすぎず

斯

くして選拔されしもの合計一千三百三十名は八月三日殿下御上陸に際し横濱埠頭最前線にて拜謁奉迎を許さる、事となれり

御歸朝を待つ高輪御所
各室の裝飾準備を急ぎ

【東京發電】東宮殿下御歸京を迎へ奉るべき高輪御所にては各種の手入を初め各室の裝飾準備を急ぎ二十日より二十四日迄

内匠寮より

人夫を出張せしめ大清除を爲し日本室の裝飾を爲し居れるも洋室の裝飾は殿下御歸京後御好に從つて裝飾爲すべし又御搭乘の自動車は内藏寮に納める頗る大型のものなりと云ふ

李王家より陛下へ御禮言上
李王職長官總督へ御禮言上傳奏方を依頼あらせらる

李王孫御誕生に付き優詔を拜せられたる李王家にては十九日午前十一時李王職長官をして總督府に齋藤總督を訪問聖上陛下に御禮言上傳奏方依頼せしめられたるに付總督は直に牧野宮内大臣宛電請する處ありたり

世子垠殿下優諚の御禮の爲め
日光田母澤御用邸御成り午餐を倶にせられ歸東

【東京電報】王世子垠殿下には十九日午前七時金谷御附武官を隨へ上野驛發車日光田母澤御用邸に成らせられ天皇皇后兩陛下に御對顔王男子生誕に就き優諚を賜はりたる御禮を言上し午餐を御陪食仰せ付けられ澄宮殿下にも御對面あり午後三時半同地發御歸京ありたり

京城府の祝賀會

東宮殿下には九月三日御歸朝につき朝鮮の奉祝日を同月八日に決定されたる事は昨報の如くなるが京城府に於ては二十日午前十時奉祝方法に就き協議會を開き香椎、早々の各松、府尹列席し協議したるが當日は東宮殿下が前代未曾有の大命を全ふされ無事御歸朝ありたる紀念の奉祝日なれば當府に於ても

盛大なる奉祝をなし

て此の日を永久に紀念すべく當日公會堂又は慶會樓にて官民合同の大宴會を催し夜は提燈行列を行ふ計畫もプロクラムの中に含まれて居ることなるが後者はただ具體的に決定し居らず澤村一課長は大體の協議案を齎し京畿道廳に當路者を訪ひ審議を遂げたるが具體的奉祝方法は二十二日に決定する筈

兩陛下への獻上品
李長官一行の御土產品

李長官一行の御土産品は天皇皇后兩陛下に對しては李王職美術品製作所が三ヶ年の日子を費して丹精を籠めた螺鈿寶石入御手函各一組及皇太子殿下には同硯箱一揃へ獻上する事となつた

御土產品

李長官一行が獻上する爲め攜行したが前個へ獻上する爲め携行したる美麗なものであるが李世子殿下及方子女王殿下並に梨本宮家の御土産品は京京の上この答電ありたり尚京城府よりは東京三越呉服店に獻上する純白縮緬王妃兩殿下に獻上する純白縮緬を製し總督府東京出張所の手を經て獻上する由

洵に順調な經過
御分娩までは
豫期の通り御安産で御母子共に非常に御丈夫で

【東京發電】李王世子妃殿下御分娩に際し拝侍したる助産婦豐崎なを女史を麹町區元園町の自宅に訪へば同女史も

喜色を滿面

に現して語る妃殿下當時の御模様に就て語る妃殿下御妊娠後御分娩迄の御經過は洵に順調でゐらせられましたから私共も必ず御安産のこと、豫期して居りました處果して極めて御安産で御座いました十七日夜御産氣付くと共に急いで

梨本宮邸に

申上げましたので同妃殿下には不取敢老女を召連れ鳥居坂御殿に御出ましになられまして種々と御世話をなされましたが直ぐ御分娩ありましたやうな譯で御座います御子樣は極めて御丈夫な御體格でゐらせられます御體重も

八百四十匁

目御ありです普通の男子は七百五十匁から八百匁が通例であります世子殿下にも男子御出生と御聽きになり殊の外御喜びになり御湯を御使ばせ申すと急ぎ次の間で御

御乳母の方

も御殿に接見になりました夫れから上つて居りますが御世話が十分おありで御座いますから非常に不

梨本兩宮御訪問

【東京發電】梨本宮守正王同妃伊都子兩殿下並に鍋島侯爵母堂は十九日午前十一時鳥居坂王世子邸を御訪問方子妃殿下及び御誕生の殿下に對面せられたり

御成の際に際し上げる丈けで御座います（東京支局）

伊藤公母堂御喜び

【東京發電】大磯の伊藤公母堂は王世子邸御慶事にて吾が初孫を得たるにも勝る喜びにて近日參邸殿下に拜謁すべしと

京城府民の祝電

李王孫御生誕につき吉松京城府尹の名により鳥居坂御用邸高事務官へ宛

『王孫御生誕あらせられたる趣きに接し府民一同を代表し茲に恭しく祝意を表す』

この祝電際逹方を依頼したるに對し廿日高事務官より

高事務官答電

貴電言上命により謝辭申上ぐ

東上す李長官一行

李長官一行は十九日午後七時廿分南大門驛發急行列車で東上の途に就いたが一行は長官及朴事務官、贊侍金觀鎬氏及屬官二名である尚朝鮮貴族代表李達鎔氏は廿日午前十時發東上したが東上代表は東京の上世子兩殿下に御祝詞言上の上所定の任務を終る豫定である

宗廟告申祭

昌德宮内では二十日午後五時より王孫御誕生の趣きを宗廟及孝殿御前に告申祭を執行せられ

皇后陛下より御下賜品

十八日更に皇后陛下よりは鳥居坂世子御邸へ宛御料理百人前及酒一樽を御下賜遊ばされた

兩陛下に御禮言上

兩陛下よりの御下賜品に對して李王殿下よりは御禮の爲め國分李王職次官掌侍司長韓昌洙氏同道にて廿日午後總督府に出頭し兩陛下に對して御禮言上の執奏方を依頼した

工藤知事參向祝辭言上

李王世子王男子御誕生に付工藤京畿道知事は十八日直に東京鳥居坂王世子附高事務官へ宛祝電を發し尚十九日午前昌德宮へ參候の上祝辭を言上せり

一般祝賀客

仁政殿玄關に於ける一般の祝賀者は引切りなしに受附は大多忙を極めて居るが二十日午前十一時李王職内高等官夫人二十餘名は熙政堂にて李王同妃殿下に對して御祝詞言上して退下した。其後李王家に對して祝電の主なるものには山縣關東廳長官、朝鮮各道知事を始め鮮内高等官多數である

釜山府民の祝電

王男子御分娩あらせられたるに就き釜山府にては府民を代表して十九日東京麻布鳥居坂李王世子殿下邸高事務官並に京城昌德宮内李王職長官宛て夫れ〳〵左の如き祝電を發したり

山縣長官の祝電

王男子御誕生の趣き府民を代表し謹んで御祝詞申上ぐ

李王世子殿下王子御誕生に付關東廳長官山縣伊三郎氏より祝電昨日李王職に到著せり

會頭の御祝電

仁川商業會議所會頭吉田秀次郎氏は麻布王世子附事務官高伯爵へ宛左の如く御祝電を發せり

王子殿下御安産を祝し奉る

深川府尹祝電

仁川府民を代表して

深川仁川府尹は十九日府民を代表して御用邸高事務官へ左の如く祝電を發す（仁川）

王子御誕生に付き謹んで府民を代表し御祝辭を申上ぐ言上を乞ふ

特別重要任務の高柳少將入城す
國家に盡す一念に變りなし
行先地は諸君の推察に任す

前田憲兵司令官等の諸將星と會同して近來になき綺羅美やかな一幅の繪畫であつた記者は軍司令官々邸に訪れ

前田憲兵司令長、安滿軍參謀長、令官等の諸將星と會同して近來になき綺羅美やかな一幅の繪畫であつた記者は軍司令官々邸に訪れ

務に浦鹽派遣軍參謀長として令聞のあつた當時恩賜煙草問題の爲め待命仰せ付けられた高柳少將は其後當局の諒解の下に後補の重要任務を帶び表面個人の資格を以て浦鹽に渡航し何事か爲す處あつて松島浦鹽政務部長と共に更に某方面に向ふ途次十九日午後一時五十分南大門驛著二見旅館に投じ

同夜

大庭軍司令官の招待にて官邸の晩餐會に列席し丁度赴任の途次入城した新補第十九師團長上田大將中將と晤語し併せて……

高柳

將軍と松島政務部長に敬意を表した兩氏共喇嘛たる黑色背廣服を著け豐滿な體軀を緩やかに微笑を湛へつつ交々語る

『ウン僕かここか見た通りのこ。

國家

に盡す一意專心に變りないよ…今度でも背廣服だ世人の所謂丸腰だね然し衣服は何でも境遇がさうか無論個人だよ西伯利の狀況を視に來たことは眞個だ然し上司の諒解はある、浦鹽の現狀は依然として變りない此から行先かサア…南大門驛の十一時發で北行する無論滿洲に向ふのだ是れからの旅行日程か一ヶ月位要かるだらう

何方

の方面かと云ふのか其れは君の判斷に任せると將軍の蹴るを推察に任せると將軍の蹴るを遮つて松島政務部長は君、僕等の行先は他界もないのだ高柳サンと僕は奉天迄同行する其先か何も大した問題でないから好いじやないかハハア…『閣下の寫眞を撮らせて貰ひたい』と

記者

が請求する『困るネ』と官邸を辭去する際にそれじや撮影給ひとレンヅに入ると自動車は走り出した、時に十九日午後十時二十分、南大門驛に向つた高柳少將一行九名は滿洲に向へるが仄に聞く處に依ると奉天に於て松島政務部長は別れて大連に向ふべく將軍は奥深く亂世の國境に入るとのことだ。

龍山の賭博

龍山元町二丁目六本龍頭りよ（四）同町二の六七林田カ松（五）金浦郡内面貝堀政吉妻水津つね（四）同郡高村面齋木胤志妻古庄まき（三）の四名は二十日午前二時頃龍山記錄原りよ方の二階四疊半間に於て八八と稱する賭博開帳中を龍山署の警官に踏み込まれ賭錢十五圓四十六錢五厘及び花札と共に引致押收され目下嚴重取調べ中

喫煙室

◇八月一日より十五日に至る十五日間の京城市内自働電話の收入は市内十九個所中南大門內の二十八圓を最高とし西大門の四十五錢を最低として合計百三十七圓なりと◇十九日入港の鳳山丸一般客の談によれば最近ニコリスク及浦鹽にて日本軍人に對し懸賞附にて殺害說流布され居れり露人間の噂にては一二等卒一人の首一圓五十錢、下士三圓乃至五圓、將校五千圓見當にて立花軍司令官の首には一萬五千圓の懸賞附しありと傳ふためにニコリヌク及びヌバスカ在留日本人は人心恟々たるものありと（敦賀發電）

今日、明日、明後日

◎京城珠競技大會　京城聯珠同好會主催本社後援にて廿一日午後一時から明治町商香園にて開催、會費五十錢　賞品多數な

商業登記公告

株式會社鬼頭兼次郎商店（變更）臨時役員任期滿了ノ爲大正拾年八月六日重任シタリ
大正拾年八月拾七日登記
京城地方法院仁川支廳

見切反物大賣出

八月二十一日より五日間

毛斯友仙　尺五拾八錢

夏物　壹圓五拾錢　五圓　九圓　均一

京城本町　電一一五七番
㊂まる三呉服店

仁川在任中の御厚情を深謝す

大正十年八月二十日
京城府尹　吉松憲郎

縞蛇電氣蒸焼
天與之靈劑

は現代科學の進歩に伴ひ精製したる無比滋養強壯劑にして肺病、肋膜、心臟病、生殖器障害、神經衰弱、ヒステリー腺病質其他諸病にて御困りの方は醫藥と併用し一日も早く健康と幸福を得らるべし

定價一半ヶ月分一圓四十錢　一ヶ月分二圓五十錢

東京淺草松葉町（合羽橋通り）蛇類研究所

東京　まむしのくすりや

特約店募集

朝鮮京城本町四ノ卅一（振替京城六二三）電話京城二三六番

特約店　川村銓造

巡迴修理の御得意各位益々御清穆の段奉大賀候陳者弊店儀地方御出張の節は毎度御引立に預り奉深謝候就ては今回一層御取引方御便宜を計り申候間未だ御取引なき地方も何卒御一報の上御用命の程願上候

純金彫刻指輪　一式製作御商
京城南山町二丁目一九
今村靜鏡
電話二七七八番
振替京城八九三八番
電略（イマ）又八（イ）

純金彫刻見習十四五六歳の者至急入用

石碑は平淸
專門で信用ある
◎感謝狀金銀杯受領
◎明和元年創業◎平淸は登錄商標
◎石燈籠花崗石銅像◎神佛像
◎攝津有名本御影石及諸國名石
◎大阪天滿天神橋電車線同町東
◎特正價附陳列◎カタログ呈上
◎電話北六五五番◎振替大阪六五五
◎大阪唯一の美術石匠

荊妻靜子病氣の處養生不相叶本日午前九時三十分死去致候此段辱知各位に謹告仕候
追て葬儀は明二十一日午後五時途中行列を廢し大和町頂本寺に於て執行仕候
八月二十日
平壤郵便局官舍
勝原邦楨
親戚　伊秩敬太郎
下田源三郎
三井十三
友人總代　楠野俊成
鈴木貞一郎
梶本益一郎

寛永御前試合

小金井芦洲講演

第六十四席

若『イヤ賊にあらざれば敵國の間者に相違ない、必ずとも當家に害をなす者、早々召捕るやう致せ』將『然らば斯様遊ばしませ、假に揚屋入りを仰せ附けられ、其の中に何か證據を上げて眞實間者でござゐますれば、其の時處置致しても遲くはござゐません、賊の疑はしきは之を罰せずと申す事がござゐます、一時揚屋入り仰せ付けられまするやう』若『アア左様か、然らば其の方に任せる』御前を退つて將監は賊へ戻つて來て、溜息を吐き、將『アア困つたものだ、無理な事を仰しやると思ふが主命は默し難い、又三郎を早速招いて御主君の仰せになつた事を申聞かせ』將『誠に氣の毒であるけれ共

一時揚屋入り申附ける、けれ共必ず身に及ぼすやうな事は致さぬから安心致せ、時を見計らつて寛きなに取計らふ』又『萬事宜しく御取計らひ下し置かれまするやう』爰で瀧本又三郎事宮本武藏揚屋入りになつて了つた所が却て足輕部屋に居るより此の揚屋に居る方が宜い、名前こそ揚屋入りだけれ共、三度〲將監の所から旨い物を差入れて呉れ、酒なども謹に入れて呉れ、運動が足りないでは、身體の爲に不可ないからと云ふので、運動の出來るやうに致して呉れまするから、結局此方が樂だ、足輕部屋では組頭牧野宗八を始め一同の者がア、困つた事になつた、氣の毒千萬な殿様の御沙汰に依つて御天守へ昇つて宿直をして、小瀬部明神様から頂いた褒美といふので御當家の御寶物飛龍丸、夫れが爲に敵國の間者とか盗賊とかいふ疑ひが掛つて揚屋入りとは誠に迷惑千萬な話だ、代る〲之を見舞に來て又『イヤごうも瀧本此度の事は誠に氣の毒で何とも申やうがない、嘸お辛ひ事であらう』又『然うお尋ね下すつて有難う存じます、辛い所ではござゐません、結句此方が樂で』○『ハア左様か、揚屋入りになつて樂と云ふのはごう云ふ譯だ』又『三度〲御家老の木下様からお心附か結構なお料理を下され、食過ぎて身體が惡くなつては往かぬと云ふので日に一遍づゝ庭の周圍を運動いたします』○『ハア、夫れは結構な事で、ごうぞ拙者も揚屋入りになりたい、旨いん事を願ふ奴があるもので、斯の如くに致して居ります内に天正十八年も暮れ改元あつて文祿元年、宮本武藏日陰の身となつて足掛け三年木下將監の保護を受けて假屋に入つて居ると、武藏修業を名として三年の暇を頂き他行をして居た佐々木劒刀齋岸柳が戻つて來た 岸『諸國修業を致し、吉岡太郎左衛門無二齋に打勝つだけの腕前になつて立戻りました、歸路彼を打込んで立戻らうと心得、藝州廣島へ訪れました所、何ぞ計らん三年前の九月十三日人手に掛つて此の世を去つた趣き、據なく空しく立戻つて參りました、斯く申上ると固よりお氣に入の岸柳でございますから若狹守『アア左様であつたか』と仰せられて岸柳が卑怯な振舞をして無二齋を打つたなどゝいふ事は少しもお耳に附かない、誠に上々の首尾、元來傲慢無禮の奴である所へ、舌を打込むだけの腕前になつて歸つて來たと自ら云ふ位だから、愈々以て傲慢の度を高め以前に増して尊大に構へ殿様の御寵愛を頂くから宜いのこと云つて虎の威を借る狐の有様、家中誰一人として劒刀齋の事を善く云ふ者はない若侍などは蔭に口惜がつて折に觸れては木下將監へ對し告口などをする、或一日將監御前へ出で 將『恐れながら申上ます』若『何だや』將『佐々木劒刀齋岸柳、早霜三年の間諸國修業を致し、腕前を磨いて此度立戻りました、彼れは最早我に上越す者はあるまい、先年龜山の他流仕合を致さうと心得、廣島へ罷り越した所、死んだ後にて誠に殘念な事を致したと申し罷らして居ります、如何に彼が大言壯語をしても、其の實地を見なければ何れ程上達致したか分りません、依つて彼れの腕前お見屆けになる爲に他流仕合仰付けられましたならばお宜しうございませう』

京城明治町二丁目 寫眞材料商 島田誠昌堂 電話壹九壹九番

名刺 京城本町四丁目 加藤商店印刷部 振替京城八六六番

パン 品質本位 神戸屋 電話二二〇五

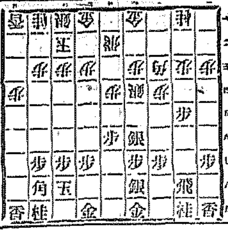
將棋新手合

第十二局（二）

於撫順千金寨角田龍吉宅

香相引 △七段 滿田末光治（京城） ▲七段 矢野逸郎（撫順）

（圖は五七銀迄の局面） ▲持駒 矢野氏ナシ



（滿田氏 矢野氏）△八二玉▲三六歩△七二銀▲五八金(イ)△六四歩▲一六歩△五一金▲一五歩△六二金▲七九角△六三金▲三七桂△七四歩▲四五銀△同銀▲同桂△五一角▲一四歩△同歩▲同香（以下次號）

講評

▲(イ)五八金は早し此處一六歩と指す處なり

八月二十二日

（舊曆七月十九日）日曜 ▲丁己 ▲四綠 ▲暗劍 辰巳 ▲赤口 ▲危宿 ▲收

▼四綠▲進むよりは守るに利あり目上の意に從うて萬事上首尾

▼五黄▲秩序を追うて追込まれば面白からざる結果に陥り易し

▼六白▲薄氷を踏むが如く危險を意味する日午前は凶午後は吉

▼七赤▲餘所々々しき事多く名實共に揚がらざる日新事は不利

▼八白▲吉凶共に相半す自重せざれば大破れを來すと心得べし

▼九紫▲順調にして欣快平生は破る事柄も此日容易に成就す

▼一白▲目的通達の日旅行轉宅開業は素より入學金譲結婚等吉

▼二黒▲何事も進み過ぎては損失を招く日新事見合散財を戒む

▼三碧▲油斷さへせずば諸事望の如く果あり女子の獨立に

内科 小兒科 外科 花柳病

仁川宮町 松本醫院

×光線科 電氣科 電話三四五番

内科 小兒科

京城永樂町一丁目（商品陳列館前）

村上病院 電話六一一番

院長 醫學士 村上龍藏

登録商標 後藤デシン

臺灣總督府專賣局方劑

朝鮮總督府法定消毒劑

消毒防臭劑

殺菌力の偉大なると防臭力の確實なるは諸官廳の御試驗に依り明瞭にして本劑の最も誇りとする處であります

後藤デシンは至る處信用のある藥店に販賣してゐます

腦病良藥 健腦丸 KENNOGWAN

敏活なる事務家……は常に

腦病良藥 健腦丸を持藥とす

毎に腦を過勞する人、腦の惡しき人

腦神經衰弱の人

速かに試みよ!!

主効特長

腦充血 腦神經病 頭痛 眩暈 腦膜炎 腦貧血 耳鳴 健忘症 逆上症 卒中 中風 便秘

逆上を引下げ、便通をよくし、怖るべき中風卒中を未發に防ぎ、腦充血を快治し記憶力を増進す。

定價 四日分六十錢より十週分七圓迄各種

本舗 丹平商會藥房

夏向きのあつさりしたた菓子

イチゴ グレープ アップル ミルク

キャンデー

本品は北海道名菓の味を含みたる滋養卓越の珍菓なり

製造元 札幌 可古谷製菓工場

特約店 京城長谷川町 中島支店

滋養と涼味一杯

カルピス

御意のまゝ

暖冷も

濃淡も

風味清涼 身神を慰め

滋養富豊 骨骼を養ふ

嶄新の清涼飲料也 美味の藥餌也

株式會社 祭原商店

大阪市東區安土町

齒の御相談

赤ちやんの齒痛で困るお母さんや、産後の齲齒で惱む御婦人方や、齒のきたないお方や、口の臭いお方や、齒齦から膿の出るお方や、齒に湯水のしみるお方や、反齒のお方や、金齒を入れようとするお方や、齒ぎしりをするお方やの御相談相手となり、猶齒磨はごんなのが良いか、齒ブラシはごんなのがよいか、齒はごういふ風に磨くのが正しいか、小楊枝（爪楊枝）はごんなのが一番よいか、齒の隙間の食滓はごうしたらとれるか、齒は一日に幾度磨けばよいか、舌ごきを使ふのは良いか惡いか、齲し齒は何故出來るか、ごんな食物が一番齲齒を起し易いか、其他齒の攝生に關する事柄は何でも容易にお分りになる「齒科問答」といふ美しい小冊子をライオン齒磨本舗でこしらへました。御希望のお方は郵券拾錢封入御申越し下されば、御送りいたします。

▼宛名は東京市本所區外手町ライオン齒磨本舖廣告部

日本で一番信用のある

ライオン齒磨

(1363—10)

松井博士の活躍

平壤貿易状況

八月上半統計

合計二十八萬四千六百五十三圓にして之を前月下半月の統計に

小學授業開始

上半期の殖銀 (二)

有賀殖銀頭取談

一、商業金融狀況 當行の預金は前期末に於て三千五百十八萬餘圓なりしも當期末に於て三千九百八萬餘圓を示し商業貸出は昨春以來財界の反動に伴ふ影響を蒙ること最も著しく爾來各期の回收高は貸出高に超過し

貸出殘高 は期を重ねるに從ひ減少の一路を辿りつゝあり當期に於ても其減少額は約二百八十萬圓を算し期末貸出現在高は三千二十三萬餘圓に下りたるは大勢の然らしむ所已むべからざるなり本項に於て一言すべきは當行か當期に於て特に

地方農家 の手持米を擔保として貸出取扱たることにして前期以來の米價暴落移出減退に伴ひ米穀商の買付手控に原因して一時非常の窮地に陷りたる農家の金融疏通に貢獻する所尠からず

一、預金及債券 ……百九十萬圓なりとす蓋し此增加は財界の不況に依る資金の

需要減退 に伴ふ自然の歸趨と稱せざるべからず次に當行が當期內に發行したる債券は前期と同じく前後三回に亘り金額合計九百萬圓にして一方に

償還期 に達せる債券十萬圓の償還を行ひたるを以て結局當期末の債券發行高は前期末に比し八百九十萬圓を增加し四千二百三十五萬圓を計上せり

一、貯蓄預金狀況 當行は昨年九月以來從來の普通貯金に加へて更に殖產積金、定期貯金及据置貯金なる三特殊貯金の取扱ひを開始したることは既に前回に於て述べたるが如し

爾來其經過を見るに 財界の不況に拘らず成績良好にして各種貯蓄預金の合計前期末に於て七十三萬餘圓なりしもの五月に於て遂に百萬圓臺に入り當期末に於て百十三萬餘圓に達したり即ち當期間の增加額は四十萬圓強を示し本業務開始以來の好成績を擧げたり因に殖產積金の當期末契約金高は百五十萬餘圓にして契約人員約四千三百名なり以上述ぶる所を要するに當期の當行業務は一般經濟界不況の裡に終始して能く大過なきを得たるのみならず尙概して

一段の進展を示し得 たるものにして其結果當期の營業成績が農工銀行より繼承したる滯貸の內十一萬三千餘圓及債券價格較差の中六萬八千餘圓を銷却して尙七十六萬一千餘圓の純益を擧げたるは株主各位と共に欣幸とする所なり

小賣値取締

昨年財界の反動以來諸物價特に卸し賣値は相當低落せるが獨り小賣價格に至つては値下歩合の割合に少く中には從前の高値と同等のものあり斯くの如きは小賣商聯盟特に同業組合の如きに於て定額以外の規定を設け又は決議を以て高值を維持し不當の價格を維持し物價低落の大勢を防止するものたるを以て農商務省は昨年末東京神奈川大阪愛知の各地方長官に對し同業組合取締方につき通牒を發し其の取締の勵行を申達せるが現下尙小賣値は依然高値を維持し居れるは其の原因の一は此所に在りとし近く今回各地方長官に對し農商務省より嚴重取締方通牒を發せり(東京電報)

の定款に付法規上より研究協議を爲したるが本廿日も引續き午後七時例會を開き協議すべしと

爲替受拂現狀

商業會議所調查に依れば京城組合銀行七月中の爲替受拂高は受入總高一萬一千四百三十五口三千二百九十二萬五千七百六十九圓拂出總高一萬一千四百の九口二千九百十三萬四千七百二十圓にして受入二十六口三百七十九萬〇四十九圓の超過なり

穀信の倉庫買受

京城穀物信託株式會社は其營業主目たる倉庫の買受けに就ては過般來交渉を續け居りしが遂に昨年末東京神奈川大阪愛知の……は昨年末東京中村倉庫(舊市村倉庫)を九萬圓に買受けの交渉既に成り且つ鈴木商店所有倉庫も同商店小山田三氏が發起人たる關係上借受の約束もあり尙商業銀行所有倉庫も使用し得る契約成りて穀信會社は業務開始に就ては準備完成し居れりと

東亞株の將來

注目されたる渠氏

東亞煙草會社の將來に就ては九月末又は十月上旬東京に於て株主總會を開き其善後策を決することゝなり居り當初京城に於て開催すべしとの說ありたるも重役は多く東京に在住する關係上止むなく東京に開催の事に決定し居るが如し而して同社の將來に就ては渠氏の消息通は曰く同社に關し京城方面との連絡は可なり密接なる者ありて一朝同社に於て將來の方針に對し有利條件の確定せば必ずや京城渠氏の買出動を見るべく渠氏の行動こそ最も注目に値するものありと

穀信打合會

京城穀物信託會社創立委員會は二十一日午後六時より京城倶樂部に於て創立に關する打合せをなすべし

土協委員會

……組織變更委員會にては二十一日午後六時より同所樓上に於て……回會合……開く筈……

銷夏漫語

水谷九三吉氏(古川商事京城出張所長)曰く私共の仕事は一年中の閑散期と云ふものがないから避暑に出かける暇もない目下の暇なしである、銅の加工品は相當に需要があるが本家の米國が三二三圓下押して居る米國の安いのは歐洲財界が不況狀態にある爲めで今後此の方面が落付き更に支那の銅相場が落付いて來たら相當に氣を持つ事と思ふが今に何と云ふても各方面とも氣迷ひ狀態で從つて銅も其影響を免れない

洋紙下押

洋紙は目下需要期前にて閑散……且つ同業者間の協定もなく相場も……

一ポンドに付二三錢方下押したるが今後の見込としては需要期たる九月末以向に於ても相場の恢復は望み難く尙下押しを持續するものには非ざるか目下の京城値段左の如し ▲模造紙一ポンド三十一錢▲上質物三十八錢▲中質物二十八錢▲ザラ紙一連……

○朝鮮銀行券 十九日現在左の如し

發行高	九九、一六〇、五一一
正貨準備	五〇、〇四二、〇五八
保證準備	

○京阪金利 十九日現在左の如し

	京	大阪
コール	一五〇	一六〇
無條件	一五〇	一四〇、一六〇
翌日物	一四五	一五〇
六十日物	二三〇	二三〇
普通割引歩合		

金剛砂

全北知事より東拓に入つた李軫鎬氏は平南觀察官を振り出しに官界生活十四年間も官界に入つた何れも一度も仕ない挨拶である……

……京城正米市場の設立の前提と觀られる穀物信託會社の設立は京城正米の取引に對する……▲倉庫の設備……株式……

株式 (十九日)

現株市場出來値

銘柄		前場	後場
京取	寄	二四二五〇	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]
仁取	寄	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	一七六五〇
鮮銀	寄	一二八五〇	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]
同新	寄	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	四三五〇
殖銀	寄	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	三三八〇
同新	寄	一六七五〇	[illegible]
	引	[illegible]	一六七〇
實銀	寄	九三五〇	[illegible]
	引	[illegible]	九三五〇
商銀	寄	四八〇〇	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]
同新	寄	三三八〇	[illegible]
	引	[illegible]	三三八〇
滿銀	寄	三九五〇	[illegible]
	引	[illegible]	三九五〇
同新	寄	一〇八〇	[illegible]
	引	[illegible]	一〇八〇
朝銀	寄	三八六〇	[illegible]
	引	[illegible]	三八五〇
東拓	寄	六四〇〇	[illegible]
	引	[illegible]	六四〇〇
同新	寄	三一〇〇	[illegible]
	引	[illegible]	三一〇〇
鮮土	寄	三三七〇	[illegible]
	引	[illegible]	三三七〇
朝紡	寄	四四五〇	[illegible]
	引	四五〇〇	[illegible]
滿毛	寄	一六七〇	[illegible]
	引	[illegible]	一七五〇
京電	寄	四四〇〇	[illegible]
	引	[illegible]	四四五〇
同新	寄	四〇五〇	[illegible]
	引	[illegible]	四〇五〇
電興	寄	七一〇	[illegible]
	引	[illegible]	七一〇
朝紙	寄	一八〇〇	[illegible]
	引	[illegible]	一八〇〇
朝郵	寄	三九五〇	[illegible]
	引	[illegible]	三九五〇
煙鐵	寄	九四〇	[illegible]
	引	[illegible]	九一〇
中鐵	寄	三七五〇	[illegible]
	引	[illegible]	三七五〇
同新	寄	[illegible]	[illegible]
東拓新	寄	[illegible]	[illegible]

乙の部

銘柄		前場	後場
信託	寄	二八〇〇	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]
安取	寄	[illegible]	[illegible]
大新	寄	[illegible]	[illegible]
上取	寄	[illegible]	[illegible]
新東	寄	二六〇〇	[illegible]

短期取引

銘柄		前場	後場
京取	寄	[illegible]	[illegible]
仁取	寄	[illegible]	[illegible]
大新	寄	[illegible]	[illegible]
滿毛	寄	[illegible]	[illegible]
朝紡	寄	[illegible]	[illegible]
鮮新	寄	[illegible]	[illegible]
拓新	寄	[illegible]	[illegible]

出來高 甲七千五百六十枚 乙三千四百八十枚 計……

東京現株

銘柄	二十日	十九日
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
東株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]
日清	[illegible]	[illegible]
東電	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	二十日前場寄付	十九日後場大引
大株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]
日紡	[illegible]	[illegible]
上取	[illegible]	[illegible]

安東株式

	寄付	大引
○十九日後場 安取	五三・〇〇	五二・五〇
先富	五三・〇〇	五二・〇〇
○二十日前場 安取	五五・〇〇	五四・〇〇
先富	五六・〇〇	五六・〇〇

前場は膠着

十日マバラ買方の手詰め……今朝は既に投ぐべきものは投げ盡……受渡終了と共に反撥……

京取頑強

底意は堅い 上岐れ近し

取引相場は焦付いたと云ふ譯ではない……玉の出盤梅に依りて良くも見ゆれば亦惡くも見ゆる……

奉天公株 信託株式會社

奉天加茂町

證據金引下げ

仲買組合にては近來相場稍安定して急騰急落の擧動も見ざるより協議の結果前日證據金を一株五十圓迄引下ぐる事に決定したるが本日京取大納會の二十日より同信託引下げ……

警告に非ず 形勢は寧ろ有利に轉換す

十七日京取の……の相場を賣崩さんこ……

如何にも風雲急なるが如く傳へ……獨り株主のみにて壟斷すべきものに非ず之れを以て宜しく之に課税して政費の一端に供されんこと信ずるを以て……公共機關の利益は事を乞ひ一面現在の制度を公認されんことを希望……公認と少く共現制度の……

買方一考す

前場は膠着

いら例令今週の受渡しが無事に終りても……强氣側は……

さへして居るならば更にヨリ以上の高値に行くといふ自信は各自に持つて居る

朝鮮唯一の證券市場として經濟界の中樞機關を司る京取市場は將來東株大株以上に發展の素地を有する

興天取引所信託株

奉天取引所信託株 右精々御便宜ニ取扱可申候間御用命ノ程希上候

京城明治町一丁目 田中友吉商店 電話長一五九四番 三一五四番

米況 (二十日)

仁川期米

前場氣崩る

前日阪地の安移りに小口買方の氣崩れに脆くも二十九圓三十九錢と入……

後場持直す

定期大豆

賣買差引殘

米限餘聞

京城正米

興味ある日曜明

米格付發表

緊米懸念

仁川正米

沙里院新米走

大豆

小麥

釜山正米

群山正米

大邱正米

東京期米

大阪期米

兵庫期米

下關期米

各地期米

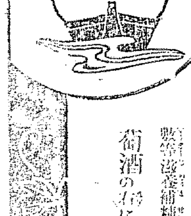
大阪三品

京城株式現物市場仲買 (先名源太郎事)

源 南源兵衛商店

明治町二丁目八十七番地 電話長六七五番 九六番 市場構內 一六三一番

仁川府府廳町三丁目 ○桑野仲買店 電話長三九番



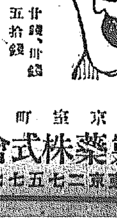
カシウポートワイン

高貴の藥劑何首烏を芳醇無類の葡萄酒中へ配合する造法に於て遂に完全なる成功を遂げたり

何首烏の藥効や實に人參に優る事數等滋養補精強壯の良劑として本葡萄酒の右に出るものなし

大阪 天滿 和田常商店洋酒部

目藥アドラ キメは一等



高峰博士發見世界眼科大醫稱讚の眼科靈藥アドリナリンを主藥とす

定價 廿錢、卅錢 五拾錢 (全國藥店にあり)

東京室町 泰昌製藥株式會社 振替東京二七五七七

TAKA-DIASTASE

胃腸疾患と タカヂアスターゼ

高峰博士發見 の本劑は胃腸疾患に必要缺くべからざる新藥にして多數の臨床醫家に依り賞用せらる 內外醫家の實驗報告書あり無代贈呈す。

本社 東京日本橋區室町三丁目 出張所 大阪淡路町・臺北府後街

三共株式會社

下關ノ土產 甲煎餅 ヲ召セ

下關驛前 龜屋本舖

滿鮮一手販賣元 大阪 井吉商店

特約店 京城 東川西之助商店 仁川 矢土丑之助商店 釜山 加納商店倉庫部

晚餐の酢料理に良く利いて味のよい

橙酢の素

酒屋食料品店八百屋に販賣す

大阪谷町五 住吉屋

最上醬油

朝鮮仁川港

高杉醬油釀造場

浮草（32）

入江新八 作　守田早苗 畫

戀の瀨踏（二）

宮崎はまた銀行の歸りに道代を訪ねて行つた。彼は昨夜妻から散々に苦しまされたのに懲りて今日は早く歸らうと思つて銀行を出たのだつたが、途中から引つ返した。彼は道代に何村といふ新しい知り合が出來たことが氣になつて、とても、此の儘家に歸ることは出來なかつた。

『能く來て下すつたわね。私の思ひが通じたのですわ』

道代は宮崎の顔を見るとうれしさうに笑んだ。彼は、その微笑に道代が笑つてゐる顔を見た丈けで、銀行で一日事務を取つた疲勞も、昨夜、妻と云ひ争つた不快も、一時に消え散るやうな思ひがした。何と軟らかな笑ひだらう、指子の高慢な固い感じと

違つて、本當に此の道代は女らしいと思つた。彼れは、さも滿足さうに、道代の傍へ行つてその手を握つた。

『僕の來るのを待つてゝ、呉れて？』

と云つた。さう云つた彼れの眼は喜びに滿ちてゐた。

『エ、……』

斯う云つたばかりだつたが、その『エ、』と云ふ單一な返辭に無限の喜びを彼は感じた。道代も今日は來てはくれまいと思つた宮崎が續いて來てくれた親切を嬉しく感謝した。そのよろこびの表情が、口では單に『エ、』と云つたばかりだつたが、滿面に歡喜の潮は溢れてゐた。矢張り昔日の優しかつた宮崎さん……本當に此人は私を愛してくれてゐるのだ……と思つた。併し、人の心を讀むに聰明な道代は、宮崎が急に斯う自分に對して熱を持つて來のは、自分に何村といふ知り合や、其他に大勢の若い藝術家の人達の顔を知る機會が出來た爲に急に、宮崎の心に一つの不安を感じて來たのではないかと思つてゐた。その不安が變形して自分に對する熱さとなつたのだ……此人は自分が何村に對して親しくするとに嫉妬を感じてゐる。自分が他に行くことを不安に思つてゐるのだと道代は思つた。で、彼女は、其場で思ひついたことを不圖云つた。

『私、今、人から誘はれたんですけれど、何んだか、貴郎が來て下さるやうに思つたから、何處へも出ずに……その人を斷つて家にゐたんですの……そしたら、矢張り私の感じた通りに貴郎は來て下すつたわね。』

『さう、誰に誘はれたの？……つまらない人達と外へなんか出ない方が好いよ。ね。人を輕信することは屹度後悔するよ。』

『さうでせうか。ちや、私注意しますわ。……でも、私が貴郎とお交際ひして、すつかり貴郎を信じたことも、矢張り輕信だつたわね。さうぢやなくつて、あなた？』

と道代は笑ひ乍ら云つた。道代は其後また買つた新しい浴衣を着てゐた。それは宮崎が若干か補助した金錢の中から買つたのだつた。それが實に能く道代に似合つたので、宮崎は、惚々と見てゐた。

『そんなことは無いさ。……決して……僕の心は少しも以前とは異らない。』

『さう、本當、貴郎。』

『分らない！』

『本當？本當に？……』

と道代は繰返した。彼の女は、もう此の男をその妻指子から奪ひ取つたと思つた。あの皮肉な嘲笑を自分に浴せた指子から、一月も經たない中に自分は男を奪ひ返したと思つた。兩人はそれから一緒に晩餐をした。そして其夜は何處へも散步にも出ないで、ひそ〳〵と話をした。宮崎は、自分の出來得る限り道代を援助することを誓つて、彼の女の手を固く握りしめてゐた。兩人は暫く無言の儘だつた。宿屋の人達は皆んな外出して、森と鎭まり返つてゐた。碧梧桐の葉からそよ〳〵と風が吹いて、道代の汗ばんだ身體を撫で、行つた。道代はその夜、戀の瀨踏の第一夜を經た。彼女は濁た眼をして、男の顔をぢつと覗入つてゐた。

京城本町三丁目 野田歯科醫院

京城長谷川町大吉堂裏 御表具師 相田祥雅堂 △特に入念迅製可仕候

乳子 パン 菓子 キムラヤ 明治町 電八〇七

京城明治町二ノ七五（電二六二三） 森内科小兒科病院 醫學士 森定吉

川柳次の題

課題 『禁酒』『秦始皇帝』『青い顔』

賞金 天の句へ壹圓
〆切 八月三十一日
句數 五句以內
宛所 本社圓苑係宛
用紙 端書に限る

禁酒

（例句）禁酒論下戶でも死ぬる酒を知らず（劍花坊）
（同）百年も生きるつもりか禁酒論（紅太郎）

秦始皇帝

（例句）藥こり始皇待てども容らせごも（古川柳）
（同）ごうかして死ぬまいとする始皇帝（劍花坊）

青い顔

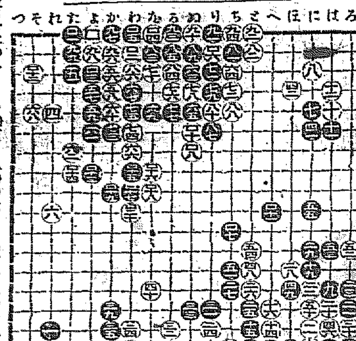
（例句）食パンのはらわたを食ふ青い顏（劍珍坊）
（同）人魂の形を話す青い顏（一醉）

禁治産

（例句）禁治産スグの舍弟は腹ちがい（劍珍坊）
（同）禁治產女に返せと云へず（久坊）

新局碁戰（六）

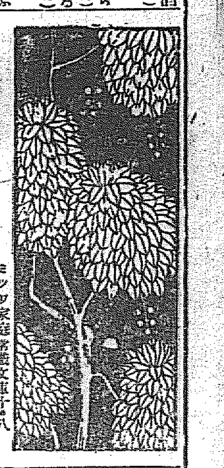
三段 先々先 山平 / 二段 先番 柴山文吾 / 評 氏



●百一 たの一 ○百二 わの二 ●百三 よの三 ○百四 をの一 ●百五 九十五の處 ○百六 りの二 ●百七 ちの十一
○百八 ぬの七 ●百九 ぬのトル ○百十 ぬの六 ●百十一 への十 ○百十二 その三 ●百十三 よの八 ○百十四 たの八
●百十五 わの八 ○百十六 なの八 ●百十七 かの九 ○百十八 なの九 ●百十九 よの九 ○百二十 わの十

京城明治町 電話一三四〇 產科婦人科 中央婦人病院 院長 衣笠舜山

……車を運ばしなさい三十分間も電車を待つ間には小一里は步けますで御自身の健康上又一面には國家經濟の爲且つ電車當局者を促す一策



ミツワ家庭常識文庫十八

茶の香氣

綠茶は宇治の玉露が世界一 紅茶では印度のダーヂリン

片岡仁左衛門談

茶は四季いづれを問はず趣のありますものでございますが特に夏には趣の深いものでございませう。綠茶といたしましては、日本の宇治の玉露が第一で、支那の龍井がその次だと云ふことでございます。歐米人の好みます綠茶は色が綠料の樣に濃いものを喜ぶのださうでございますが、日本の茶の譯では此の色は出ないさうでございます。紅茶では印度のダーヂリンが最上ださうで、澁味がなく甘味があつて、色も濃淡中を得て居りますさうで、乳を混ぜても混ぜなくても、それ〴〵に宜しいさうで、乳の爲に香氣の失せる樣なことはないさうです。然し香氣から申しますと支那の紅茶の方が一段高いさうで、この點に於て超凡と云ふ風があると云ふことです。茶には綠茶、紅茶は勿論、お番茶にいたしましても香氣が大切で、これが拔けましては、枯葉を煎じてのんで居る樣なものですから、馬鹿々々しいものです、それで茶を貯はへて置きまして、此の香氣の拔けない樣に致しますには、罐の蓋の方を下にして置くと宜しいさうです。お茶でも紅茶でもブリキの罐へ入れましたら、蓋の方を下にして置きますと、宜しうございます。蓋を上にしますと上の方が湧きますから香氣が洩れて自然香氣が拔けます。口をあけない罐は合せ目へ紙を張つて逆さにしてしまつて置くと宜しいさうです。夏の樂は此のお茶や入浴でございます。夕暮一風呂浴びる樂は何とも云へません。洗料のミツワ石鹸が此の樂を助けて効果を奈うしますものでございます。此のミツワ石鹸を掌で溶きますと雪の樣に白い泡沫が立ちまして見るからに氣持よく、使ひ心地がよく皮膚が生々と清らかになつて行きます。

□片岡市藏曰く 暑い折に、人を訪問しました時、冷たい水で搾つた手拭を出されますのは何よりの御馳走でございますが、これにミツワ花の雫でいゝ芳香がついて居りますと、一しほ涼氣が漂ふ樣に思ふのでございます。此のミツワ花の雫は何かにつけて夏の家庭に宜しいものでございます

□片岡千代之助曰く お出かけの時、髮に簡髪用香水ミツワ月の雫をふりまして、刷毛で撫つて置きますと、護脂は除れていゝ芳香になり、頭が爽かになります。途中で人に遭ひまして、帽子をとりましても、清凉な芳香がかろく搖れますから、遭ひました人にもいゝ感じを爽へますものです。

家庭治療法 小田醫學士編 特價金五拾錢を添へ御申込次第送呈

ミツワ肌の雫 肌膚を整ふる芳香 健膚劑 定價 小壜五拾錢 大壜壹圓六拾錢

發賣品目錄進呈 東京橋町 丸見屋商店

時計貴金屬指輪眼鏡商

地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町三丁目 發賣行所 三浦天龍堂 電話一〇〇二番 振替京城三〇四番

釜山商店案內

洋鐵 鋼鐵 鐵道 船舶 建築 土木 材料其他工業諸器械附屬品商 角野商店 釜山辨天町 電話三三一番 振替口座一三九

酒精 燒酎 西貢米 碎米 大豆 小豆 砂糖 麥粉 福榮商會 釜山埋立新町

洋酒・罐詰 あづまや 電話三五九 振替京城三九
糖粉・官煙

贊化病院 京城府明治町一丁目 電話二四〇番 醫學博士 古城憲治
內科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り施療す

內科 小兒科 院長 醫學士 小林千壽 小林病院 京城旭町一丁目（電話九六一番） 入院隨意 普通病室 隔離病室

（內科）（外科） 岩田病院 附屬 沃度注射院（入院隨意）
東京牧野沃度研究所顧問 正五位勳三等功四級 岩田末彥 京城長谷川町 電話一六一〇

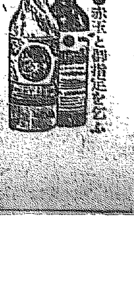
お化粧の順序
カテイ石鹸 クラブ洗粉 クラブクリーム クラブ白粉 クラブ頬紅 クラブ粉白粉 美人

顔のアレぬ
カテイ石鹸
四十余年を石鹸に捧げたる中山太陽堂技師ウエンライト氏製造擔任

赤玉ポートワイン

美味といへば葡萄酒
葡萄酒といへば赤玉
其名に喜びの色あり
愛すべきかな赤玉！

滋養といへば葡萄酒
葡萄酒といへば赤玉
其名に盡きぬ力あり
親むべきかな赤玉！



類似品多し●赤玉と御指定を乞ふ

汽車時刻表
京釜線 京義線 京仁線 馬山線 湖南線
大正十年六月一日改正